

令和6年度

事業報告書

社会福祉法人相模原市社会福祉事業団

目 次

1 法人本部	
(1) -① 法人本部運営	1
(1) -② 地域における公益的な取組	9
(2) 障害者支援センター管理事業	10
2 障害者支援センター相談支援事業所	13
3 障害者支援センター多機能型事業所	14
(1) 生活介護事業①	17
生活介護事業②	21
(2) 自立訓練（生活訓練）事業	23
(3) 就労移行支援事業	26
(4) 就労継続支援B型事業	29
(5) 就労定着支援事業	31
4 銀河	
(1) 生活介護事業	32
(2) ガイドヘルプサービス事業所	36
5 障害者支援センター	
(1) 障害者地域就労援助センター事業	38
(2) 障害者就業・生活支援センター事業	42
(3) 地域障害者施設支援事業	46
(4) 基幹相談支援センター等事業	51
6 障害者一時ケア事業	56
7 発達障害支援センター就労支援事業	59
8 障害者相談支援キーテーション事業	62
9 けやき体育館	
(1) けやき体育館管理・運営事業	65
(2) 障害者余暇活動支援事業	70
○福祉研修センター研修一覧表	巻末

1 法人本部

(1) -①法人本部運営

○事業の概要

法人運営に係る重要事項の議決機関である評議員会、業務執行の決定機関である理事会を開催し、事業計画、予算、決算等を策定するとともに、法人全体に係る事務、財務及び職員の人事、採用、育成、労務管理及び地域交流、広報活動を行う。

○重点目標

- 1 従来の業務実施方法を見直し、時代に即した実施方法を推進する。
- 2 働きやすい職場づくりを推進する。

○実施結果

1 評議員会、理事会等の開催

(1) 評議員会、理事会の開催

ア 評議員会の開催

開催日	出席・同意数／定数	主 な 議 題
6月18日	評議員 7／8	・令和5年度収支決算 ・理事の選任

イ 理事会の開催

開催日	出席・同意数／定数	主 な 議 題
5月21日	理事 6／6 幹事 2／2	・令和5年度事業報告、収支決算、監事監査報告 ・理事候補者の推薦 ・評議員選任・解任委員会委員の選任 ・評議員選任・解任委員会の招集 ・定時評議員会の招集 ・資金運用実施計画
12月3日	理事 6／7 幹事 2／2	・職員給与、退職手当規程の一部改正
2月20日 (書面決議)	理事 7／7 幹事 2／2	・評議員候補者の推薦 ・評議員選任・解任委員会の招集
3月18日	理事 6／7 監事 2／2	・資金収支予算の補正 ・職員就業規則の一部改正 ・育児・介護休業規則の一部改正 ・令和7年度事業計画、予算 ・第三者委員の選任
3月24日 (書面決議)	理事 7／7 幹事 2／2	・評議員候補者の推薦 ・評議員選任・解任委員会の招集

ウ 評議員選任・解任委員会の開催

開催日	出席・同意数／定数	主 な 議 題
2月28日	委員 3／3	・評議員の選任(1名)
3月26日	委員 3／3	・評議員の選任(1名)

エ 監事監査の実施

実施日	5月15日
実施者	法人監事2名(大崎ケイ子氏、渋谷久美氏)
対象	令和5年度法人運営(事業)及び財務(収支決算)
監査結果	5月21日理事会に報告のとおり

(2) 経営会議の開催：業務執行・内部統制に係る重要事項の審議、決定
経営会議の開催 3回(5月10日、11月15日、3月10日)

(3) 経営調整会議の開催：業務執行上の実務の審議、決定、執行
経営調整会議の開催 月1回 計12回

(4) 運営協議会の開催：利用者、家族、地域の方々の意見を伺い事業に反映

開催日	出席者／現在数	主な議題
9月12日	9/10	・事業団が行っている事業 ・地域との連携

2 財務運営

(1) 長期的な視点で財務を強化し、継続性のある安定した法人運営に取り組んだ。

(2) 会計の専門家による「財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援」の実施にむけて準備を進めた。

(3) 電子申告義務化、労働力不足等、様々な状況の変化に対応できるよう、電子申告実施に向けた準備、財務会計の手続き見直しによる省力化など、財務会計の実施方法の見直しを進めた。

3 人材の確保・育成

(1) 説明会の開催から募集、選考、採用についての一連の活動を計画的に実施し、効果的かつ効果的な人材の確保に努めた。

ア 次のとおり説明会を開催した。

開催日	参加者数	主な内容
7月24日	5	・事業団の概要説明
8月8日	2	・各事業における職員の役割に関する説明
3月6日	1	・先輩職員へのインタビュー動画の視聴
3月12日	0	・質疑応答
3月21日	5	・施設見学

イ 次のとおり職員の募集及び採用を行った。

区分	募集期間	募集人数	応募人数	採用人数
正規職員・福祉職員(1回目)	3月1日～4月5日	2	4	0
正規職員・福祉職員(2回目)	6月1日～8月23日	2	10	1
正規職員・福祉職員(3回目)	1月9日～2月9日	4	7	0
正規職員・看護職員(1回目)	随時	1	1	1
契約職員・生活支援員(1回目)	3月28日～4月16日	4	2	2

契約職員・生活支援員(2回目)	4月23日～5月14日	2	0	0
契約職員・生活支援員(3回目)	6月6日～7月16日	2	3	1
契約職員・生活支援員(4回目)	8月6日～9月17日	若干名	4	1
契約職員・生活支援員(5回目)	11月4日～12月2日	3	2	2
契約職員・生活支援員(6回目)	1月28日～2月24日	5	1	1

ウ 採用PR活動

事業団の採用情報に関心のある方や実習生などに対し登録を依頼し、採用に関するメール配信を行った。(年2回)

(2) 人材育成・職員研修計画に基づく、研修の充実を図る。

職員研修の実施

研修区分		内容	参加人数
職場研修 OJT	階層研修	・新規採用職員研修(法人内) ・新規採用職員研修(相模原市) ・管理職研修(ハラスメント)	5 3 7
	法人本部 テーマ別研修	・情報セキュリティ・コンプライアンス研修 ・感染症対策セミナー ・吐物処理研修(主に新規採用職員が対象) ・虐待防止セミナー ・事故防止セミナー	76 73 11 55 73
派遣研修	本部 専門 研修 職場外	・令和6年度新任主査研修 ・令和6年度新任副主幹研修 ・産休なんて怖くない！子育て応援セミナー	1 1 2
		資格取得研修 ・強度行動障害支援者養成研修(基礎研修・実践研修)指導者研修 ・社会福祉法人会計実務講座(入門コース) ・指導講師(看護師)育成伝達講習会 ・神奈川県相談支援従事者 現任研修 ・医療的ケア児等コーディネーター養成研修① ・医療的ケア児等コーディネーター養成研修 インターバル対応② 外部機関・専門 ・レジリエンス(心の回復力)向上セミナー ・相談支援従事者研修 演習講師等養成研修 ・SEJA 研修会 神奈川県内就労支援機関の取り組みについて ・技能体得講座 アンガーマネジメントについて ・労働者派遣、職業紹介、請負セミナー ・ファシリテーション研修 ・苦情解決研修会(第一回基礎編) ・社会福祉法人会計基準の概要と計算書類体系について ・相談支援従事者専門コース別研修「地域移行・定着支援・触法」 ・知っているようで実は知らない？防災のいろいろ ・自閉症の特性と学習スタイル	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

	・高次脳機能障害講演会	1
	・インクルーシブ・プログラム開発事業「人生ってなに?」「働くってなに?」「ずっと学ぶってなに?」	1
	・第1回健康保険委員研修会	1
	・評価から支援へ	1
	・構造化のアイデア	1
	・コミュニケーション支援	1
	・親の思いに耳を傾け、ありのままを受け止めることの大切さ	1
	・相談支援・就業支援セミナー①	1
	・相談支援・就業支援セミナー②どうする意思決定	1
	・障害福祉施設協議会新任職員研修会	1
	・難病患者等ホームヘルパー養成研修(基礎研修Ⅰ・Ⅱ)	1
	・協議会運営と事務局の役割	1
	・看取り研修～最後まで園人らしく 生き抜くために～	2
	・体得技能研修	1
	・発達者雇用促進セミナー	2
	・組織力(組織基盤・組織風土)現状診断セミナー	1
	・若年性認知症自立支援ネットワーク研修 「若年性認知症の就労に関する取り組み」	1
	・企業向け安全運転研修	3
	・地域移行支援における当事者との協働(相模原市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業)	2
	・親子ともども快適に生活できるように	1
	・医療従事者と福祉従事者の合同企画 地域移行支援の研修会	1
	・「障害のある方の就労パスポート」のワークショップ	2
	・神奈川県医療的ケア児等コーディネーター・フォローアップ研修	1
	・目でみる言葉 手話にチャレンジ	1
	・第二回健康保険委員研修会	1
	福祉研修センター	
	・福祉の仕事のルーツを知ろう	5
	・支援者の価値観と倫理観～支援者として守るべき拠り所を知っていますか～	3
	・対人支援の専門性とは	3
	・障害者の理解と障害者を支える思想	2
	・障害福祉制度と地域生活支援～住み慣れた地域で暮らすために～	2
	・自閉スペクトラム症や神経発達症(発達障害)のある子どもと共に育つ	4
	・利用者と一緒に目指す就労とは	3
	・障害福祉制度の基礎	5
	・相模原市の障害者福祉制度	1
	・インクルーシブな社会とは?	1
	・サービス等利用計画と個別支援計画の関係	1
	・障害者の権利擁護について考える	1
	・アンガーマネジメントを学ぶ	1
	・身体拘束について	2

	・事例を通して学ぶ～虐待防止について考えよう～	2
	・精神保健福祉の歴史	1
	・気持ちに寄り添う面談とは～ここが知りたい！面談の技術～	4
	・対人援助とは～専門職であるために～	2
	・話し方研修～めざせ！コミュニケーションの達人～	2
	・はじめて学ぶ 強度行動障害	2
	・精神障害のある方の「働く」をささえる支援	2
	・知的障害者の意思決定支援～本人と家族への包括的なソーシャルワーク～	1
	・より良い部門 職場づくり～スーパービジョンの視点から～	1
	・ソーシャルワークアプローチ研修	2
	・重症心身障害児(者)の「こころ良さ」を目指して ①②	2
	・障害児への口腔・摂食機能への対応	2
	・成人期における障害者への食事介助と口腔ケア	2
	・食べることの支援～演習～	5
	・工賃アップにおける報酬改定の方向性と障害者の自立について	1
	・知的障害のある人の語りを聞く面白さと奥深さ～本人たちの語るライフストーリーからの学び～	3
	・災害ソーシャルワーク	3
	・ヤングケアラーについて考える	1
	・アンコンシャス・バイアス(無意識の特権)	2
	・障がいのある方の「働く」を考える 「ともに働く」を実現するために ①②	4
	・福祉と司法の連携	1
	・発達障害児の二次障害	1
	・発達が気になるこどもの心理的アセスメント	1
	・精神障害者の雇用を支える支援者ケアと組織づくり	5
	・生活から支える障害者雇用～事例検討を通して～	7
	・「心のメンテナンス」研修	1

(3) 就労援助センターと連携したプロジェクトチームによる障害者雇用拡充の検討として、チャレンジ雇用職員の採用にあたり、全所属長を交えて職制・職域について検討を行った。

(4) 法人内で部門間の短期的人事交流を行い、法人内コミュニケーションの活性化による円滑な横断的連携や視点の差異や共通項を見出し、法人全体としての支援の質の向上を図った

ア 新規採用職員研修として、他部門への理解を深めるため部門間の短期的人事交流を行った。

3日間、1名

イ 新規事業立ち上げにあたり、部門横断的にチームを編成し、事業の実施について検討した。

会議開催数4回、会議参加者5名

(5) 資格取得（登録）支援

所定の資格取得者に対して資格取得一時金を支給した。

年度	取得資格と取得者数
R6	社会福祉士 1名
R5	社会福祉士 5名 精神保健福祉士 1名

4 危機管理会議と苦情解決

(1) 災害対策委員会において、災害発生に備えた防災訓練、事業継続計画の検証やシミュレーションを行った。

- ア 松が丘園銀河合同防災訓練（2回）
- イ 福祉避難所開設訓練（相模原市合同開催）（1回）
- ウ BCP、福祉避難所等 災害備蓄品等の確認

(2) 感染症対策委員会において、感染症に関する最新の情報を把握し、研修等により感染症防止対策の適切な知識の普及啓発及び対策を行った。

- ア 感染対策BCPの更新
- イ 感染症対策セミナーの実施（1回）
- ウ 吐物処理対応動画の作成と実地訓練（2回）の実施

(3) 虐待防止委員会において、研修及び職員セルフチェックリストの実施、身体拘束等の適正化対策の検討及びコンプライアンスの推進を図った。

- ア 虐待防止セミナーの実施（1回）
- イ セルフチェックリストと意見交換（2回）
- ウ 身体拘束に係る理解を促進する動画配信
- エ 身体拘束適正化委員会の開催

(4) 事故防止委員会において、事故の未然防止策や事故発生時の対策について検討を行い、事故防止に努めた。

- ア 交通事故防止・事故防止研修の実施と意識啓発
- イ 事故報告・ヒヤリハットの集計・分析と情報共有
- ウ 自己診断シート「ヒューマンエラー危険度」実施

事故報告・ヒヤリハットの件数

単位:件

年度	事故報告	交通事故・違反	事務処理ミス	その他	ヒヤリハット報告
R6	18	6	2	1	20
R5	15	5	0	0	2

(5) 苦情、ご意見ご要望の受付と第三者委員会への報告など、苦情に対する適切な解決に努めた。

ア 苦情・ご意見ご要望の受付件数

単位:件

年度	苦情	苦情の分類				ご意見・ご要望
		人的サービス	施設の管理運営	施設設備	その他	
R6	0	0	0	0	0	2
R5	1	1	0	0	0	2

イ ご意見・ご要望の内容

・食堂レースカーテンのクリーニングもしくは交換希望について
 ・就労援助チームとの連絡方法および職員の対応について

ウ 個人情報保護・開示

開示申出件数:0件

エ 利用者満足度調査（アンケート）の実施

（ア）多機能型事業所（実施期間：10月1日～31日）

年度	配布数	回収数	回収率	回答に占める 全体的に満足・ある程度満足の割合
R6	45	45	100.0%	96.3%
R5	44	44	100.0%	95.4%

（イ）けやき体育館（実施期間：1月4日～1月31日）

年度	配布数	回収数	回収率	回答に占める 全体的に満足・ある程度満足の割合
R6	199	183	92.0%	99.4%
R5	213	182	85.4%	98.1%

（ウ）銀河・生活介護（実施期間：11月4日～29日）

年度	配布数	回収数	回収率	回答に占める 全体的に満足・ある程度満足の割合
R6	44	33	75.0%	100.0%
R5	42	34	81.0%	100.0%

（エ）障害者一時ケア事業（実施期間：11月1日～12月27日）

年度	配布数	回収数	回収率	回答に占める 全体的に満足・ある程度満足の割合
R6	59	39	66.1%	100.0%
R5	68	52	76.5%	100.0%

（オ）就労援助センター（実施期間：9月1日～10月31日）※令和6年度新規実施

年度	配布数	回収数	回収率	回答に占める 全体的に満足・ある程度満足の割合
R6	15	10	66.7%	100.0%

5 広報活動及び情報公開

（1）広報委員会によるホームページの随時更新及び広報紙「こもれび」の発行等により、利用者、関係者及び地域の方々へ法人活動を周知した。

ア ホームページによる情報提供：年間 241回

イ 機関紙「こもれび」の発行：年間2回・計2,000部・地域の方、関係機関等へ配布

ウ 「松が丘通信」の発行：年6回

エ 「けやき体育館通信」の発行：年6回

オ けやき体育館公式X投稿：年間419回

(2) 地域との交流を図るとともに、事業団を PR する行事として、「松が丘園祭」を開催した(10月26日)。地域にお住まいの方や福祉に関心を持つ学生の方など多くの方が来場し、盛り上がりを見せた。

(3) 近隣大学との連携

ア 知的障害者ガイドヘルパー養成研修の実施

和泉短期大学からの委託事業として、知的障害者ガイドヘルパー養成研修を実施した。

実施期間	人数
・座学(13時間)10/1~10/2 ・実習(6時間)11/1~11/25	19

イ 松が丘園での授業受入れ

和泉短期大学の必修科目の授業を松が丘園で行い、事業団職員が講師として携わった。

10月9日(水) 1クラス 19名

ウ 松が丘園祭での連携

松が丘園祭と和泉短期大学いずみ祭においてスタンプラリーを共同で実施した。

6 職員の労務管理と福利厚生

(1) ストレスチェックにより、職員のストレスへの気づきとメンタルヘルスの向上を図った。

ストレスチェックの実施 令和6年11月 対象者73人

(2) 日常的な職員の悩み事を相談できる機会として、臨床心理士による「なんでも相談」を実施した。

相談件数5件(事業団5件、文化財団0件)

(3) ハラスメント防止のための責務を認識し、ハラスメントのない職場作りを目指すため、管理職を対象にハラスメント研修を実施した。

参加者数：7人

(4) インフルエンザ予防接種費用の一部補助：28名

7 DXの推進

(1) 業務効率化を目的とした会議を定期的実施し、デジタル技術の活用などで効率化できる業務を抽出するため打ち合わせを行った。

打ち合わせ開催数 12回

(2) DX試行事例として、自動化ツールを利用した小規模な事務処理の自動化を試行したが、法人の業務実態には適合しなかった。

1 法人本部

(1) -② 地域における公益的な取組み

○事業の概要

社会福祉法人の責務である「地域における公益的な取組」として、障害のある人が自分自身に合った時間の過ごし方を見つけられる障害者フリースペース事業、地域の方がほっとできるような居場所や情報交換の場として、こどもや障害のある人などの地域の人にむけたフリースペース事業を実施する。事業団の専門性を活かし、公的支援につながりにくい人に対する支援を実施する。

○実施結果

1 まつカフェ

障害のある方に対して、楽しい時間を過ごす居場所を作る事業として、「まつカフェ」を実施した。参加者が様々な体験ができるような内容を検討し、参加者同士が親睦を深められる機会とした。この事業の実施にあたっては、地域課題やニーズを把握し、事業化する取組みを法人として積極的に進めるために、組織横断的にプロジェクトチームを組織し行った。

開催日	参加者数	内容	会場
9月15日	5	科学館見学	ふれあい科学館
10月26日	80	「カフェ&バーまつ」営業 (松が丘園祭内で実施)	松が丘園
11月24日	3	自由な学習の時間	松が丘園
12月21日	10	忘年会	松が丘園
1月12日	5	プラネタリウム鑑賞・博物館見学	市立博物館
2月8日	7	SDGsを学ぼう!	松が丘園

2 みんなのけやきカフェ

けやき体育館で運営する「けやきカフェ」を活用し、こどもや障害のある人など、地域の方がほっとできるような居場所づくりや交流の場「みんなのけやきカフェ」を実施した。また、同日に開催したイベント「けやき☆ひろば」への案内を行った。

実施日	参加者数			内容
	こども	大人	合計	
5月11日	9	35	44	カレーの提供、参加者同士の交流の場
3月20日	5	22	27	カレーの提供、参加者同士の交流の場

1 法人本部

(2) 障害者支援センター管理事業

○事業の概要

指定管理事業である障害者支援センター松が丘園全体に係る統括を行うとともに、施設の維持管理等を行なう。

○重点目標

環境に配慮した施設の維持管理に努める。

○実施結果

1 障害者支援センター松が丘園全体に係る運営の統括

(1) SDGsの観点から、ペーパーレス化を推進した。

(2) 衛生委員会において、職員の健康被害の防止を図るとともに、産業医から感染症等に関する最新の知見・情報を得て、対策に役立てた。

衛生委員会開催 月1回 計12回

2 施設の維持管理

(1) 設備修繕を適切に実施し、施設の長寿命化を図った。

修繕内容	委託業者	作業日
事務所 電話配線整理	AICOM	4月22日
作業ルームドレインメカ修繕	暖冷サービス	5月30日
風除室非常灯修繕	わきざき電能サービス	4月3日
2階防火シャッター点検口設置	本多鉄工建設	5月1日
職員休憩室 昼交換	小林住設	7月5日
女子更衣室結露対策	穂久斗工業	8月15日
理事長室壁紙貼替	小林住設	9月19日
作業ルーム3 エアコン修繕	穂久斗工業	12月2日
トイレセンサー電池交換	野崎工業所	12月12日
ケアルーム2 排水詰り	野崎工業所	1月9日

(2) 備品、器具什器の更新を計画的に行った。

品名	購入日	価格
スマートフォン	4月1日	0円
書画カメラ	5月22日	578,000円
キャビネット	12月12日	84,490円

(3) 施設の機能を維持するために、適正な業務委託と保守点検を行った。

業務委託項目 (委託業者)	内容	実施日
清掃	毎日の日常清掃及び年2回定期清掃	定期清掃6/16、11/16、17
警備	出入管理、巡回等警備16:45~22:15	休館日を除く全日
機械警備	火災、ガス漏れ、盗難及び不良行為の拡大防止	休館日を含む全日

	のため 夜間機械警備22:30～翌日8:30、閉館日全日	
廃棄物収集運搬	一般・産業廃棄物の運搬、回収、処理	一般廃棄物 週3回 産業廃棄物 10/16
消防用設備保守点検	消火器具、屋内消火栓設備等の保守点検 (法定点検年2回、自主点検月1回)	法定点検 7/5、1/8 自主点検
電気時計設備保守点検	日常点検(年2回)	9/11、2/6
自家用電気工作物保守点検	受電設備、配電設備等の保守点検 (月次点検年6回 年次点検年1回)	年次点検 11/16
電話交換機保守点検	日常点検(年2回)	6/11、12/3
冷温水発生機保守点検	冷温水発生機保守点検・冷暖切替(年3回)	中間点検 8/15 切替点検 5/2、10/18
エレベーター等保守点検	エレベーター保守点検(月1回) 24時間遠隔監視	毎月実施
送風機空調設備保守点検	吸気ファン、廃棄ファン保守点検(年1回)	2/22
建築設備定期点検	定期保守点検(年1回)	11/11
防火設備定期点検	定期保守点検(年1回)	1/8
自家発電設備負荷運転点検	定期保守点検(年1回)	3/24
自動扉保守点検	自動扉の保守点検・清掃・試運転(年4回)	4/16、7/30、10/10、1/8
樹木剪定	敷地内樹木剪定(1回)雑草除去(2回)	樹木剪定 10/7 雑草除去 7/6 10/8
害虫防除	館内・厨房害虫防除(年2回)	6/28、11/22
簡易専用水道検査	受水槽水質検査(年1回)	2/25

(4) 光熱水費使用量の推移を職員に定期的に開示することにより、省エネルギー意識を高めた。

毎月1回 年12回 エネルギー購入量報告書を作成

(5) 福祉団体等に対する研修室の貸出を行った。

貸出団体数 3団体 貸出回数 39回

3 災害対策

(1) 福祉避難所の備蓄物品の管理体制を整備し、データベースのメンテナンスを実施した。

(2) 各種災害を想定した防災訓練を実施した。

日 時	内 容	参加者
6月26日	地震・火災を想定した通報訓練、避難誘導訓練、水消火器による消火訓練	126名
11月28日	火災を想定した通報訓練、初期消火訓練、避難誘導訓練	125名

4 感染症対策の継続

- (1) 館内の定期的な消毒と換気を徹底した。
- (2) 利用者、職員、来館者の検温、状況に応じたマスク着用、手洗い及び手指消毒を徹底した。
- (3) 感染症等の最新情報を把握し、利用者、職員、来館者の感染防止に努めた。

2 障害者支援センター相談支援事業所

○事業の概要

障害福祉サービス利用申請に当たって必要となるサービス等利用計画の作成及び施設や精神科病院等からの退所・退院を希望する障害者の地域移行・地域定着支援を、基幹相談支援センターと連携して行う。

○重点目標

障害者の多様なニーズに応えられるよう研修等で時代に即した支援に係る知識とスキルを高め、他分野を含めた地域の機関と連携した支援を行う。

○実施結果

1 指定特定相談支援事業

障害者総合支援法に基づき、適切なアセスメントによるサービス等利用計画の作成及び継続サービス利用支援として訪問の他、必要に応じて電話等を活用したモニタリングを実施し、対象者が必要とするサービス等を利用するための支援を行った。

単位：人（3月末時点）

年度	契約者数
R6	240
R5	260

2 指定一般相談支援事業

施設入所の障害者又は精神科病院等に入院している精神障害者の地域移行に関する支援や、単身等の地域で生活する障害者について、連絡体制の確保や緊急事態において相談や便宜の供与を実施した。

単位：人（3月末時点）

年度	契約者数(※)
R6	1
R5	1

(※) 年間対応実人数

3 障害児相談支援事業

児童福祉法に基づき、適切なアセスメントによる障害児支援利用計画の作成及び継続障害児支援利用援助として訪問の他、必要に応じて電話等を活用したモニタリングを実施し、対象者が必要とするサービス等を利用するための支援を行った。

単位：人（3月末時点）

年度	契約者数
R6	13
R5	14

3 障害者支援センター多機能型事業所

多機能型事業所の通所機能を活かし、利用者が望む地域生活を送れるよう、利用者それぞれの目標の実現に必要な支援を行う。

利用者一人ひとりのニーズを把握し、必要な意思決定支援を行い、事業所や企業で働く事への支援、個々に合わせた作業提供、確実な医療的ケア等利用者の望む生活の実現を図る。

○実施結果

1 個別支援計画の作成

利用者の希望や目標を実現するため、利用者の意思を最大限尊重し、具体的な支援の内容を記載した個別支援計画の作成を行った。

事業	作成人数	詳細
生活介護①	20	6か月に1回以上作成
生活介護②	6	6か月に1回以上作成
自立訓練	11	3か月に1回以上作成
就労移行	12	3か月に1回以上作成
就労継続支援B型	9	3か月に1回以上作成
就労定着支援	18	3か月に1回以上作成

2 日常生活の支援

(1) 食事の提供

単位：食

事業	年間提供食数
生活介護①	1,268
生活介護②	944
自立訓練	2,179
就労移行	1,462
就労継続支援B型	1,293

(2) 健康管理

ア 健康相談、健康状態の確認

医療的ケア総括医に対し、通所者である重度心身障害者の健康状態を共有し、医療面に関わる相談を行った。また、2月に1回、精神科医が来所し、利用者及び家族の精神的な事に関わる健康相談を実施した。

精神科相談	延べ12人・4回(5/29、8/14、11/27、2/26)
医療的ケア 総括医への相談	・医療的ケア委員会の開催 ・気管カニューレ抜去時等や体調不良等による緊急時における体制強化のための訓練等

イ 健康診断

健康診断実施機関で実施した。

受診回数	8回(8/5、8/7、8/19、8/21、8/26、8/27、9/4、9/9) 健康診断実施機関：総合相模更生病院
------	--

(3) 防災、安全

ア 防災訓練の実施

合同防災訓練実施	2回(6/26、11/28)
----------	----------------

イ 交通安全意識の啓発

交通安全に関する講座の開催	1/23	・ライフサポート講座 安心安全「交通安全」(自立訓練) ・自立促進プログラム 生活力アップ講座「交通安全」(就労移行)
---------------	------	--

(4) 相談支援

各事業で随時行った。

(5) 苦情解決、権利擁護

苦情解決	0件	・苦情の申立はなかった
福祉オンブズマンネットワーク	相談者 40名	【通常活動】 ・来所回数 10回(4/17、5/15、6/19、7/17、9/18、10/16、11/20、12/18、2/12、3/19) 【その他イベント】 ・「オンブズマン当事者交流会」11/26 ・「オンブズマン設立 20周年記念研修」(オンブズマン・協力員向け)2/18 ・熱田オンブズマンによる「音楽コンサート」3/26

(6) 契約説明会の開催

新規利用者向け契約説明会	2/27	令和7年4月より利用予定者5名(自立訓練事業)参加
各事業利用者向け契約説明会	2/12	生活介護②、自立訓練、就労移行、就労継続支援 B型利用者参加

(7) 一人ひとりの働き方にあわせた作業提供

生活介護①	・CDやDVDの分別作業 ・ベーカリー「麦の穂」の販売応援 ※ 生活介護②利用者と共に、作業を実施。利用者が、その日取り組みたい作業に取り組めるよう、ひとり一人の状況に配慮し、作業に参加した。
生活介護②	・生活介護①利用者の作業面のサポート ・給食提供が円滑に行われるよう、環境整備 ・CDやDVDの分別作業
自立訓練	・箱織作業 ・企業受注作業 ・マスコットづくり(フェルト作業)
就労移行	・箱織作業 ・企業受注作業 ・クリーニングたたみ作業(施設外就労)
就労継続支援 B型	・ベーカリー「麦の穂」運営(パン製造、販売)

3 利用者満足度調査の実施

利用者満足度調査を実施し、サービス向上に活かした。

例) 喫煙場所からの煙の臭いの解消→喫煙場所の徹底周知

4 「卒業後のわたしたち」実践報告（福祉研修センターと共同企画）の実施

実践報告 「卒業後のわたしたち」	7/8、2/14	利用者やその家族が日々感じていることや、日頃の活動を発表した。
---------------------	----------	---------------------------------

3 障害者支援センター多機能型事業所

(1) 生活介護事業①

○事業の概要

医療的ケアが必要な方や、自分にあった働き方を望む方を対象に、一人ひとりの豊かな生活を目指すため、それぞれの障害や日々の体調に合わせた日中活動、生産活動、安楽な環境を支援するリラクゼーション（休息）、健康管理、医療的ケア、食事の提供を行う。

○重点目標

- 1 利用者の働きたいという気持ちに合わせた働き方のできる作業環境の整備
- 2 地域の重度障害者の活動先拡大のための事業所訪問
- 3 利用者個人の意思や特性を尊重した日中活動や体調不良等による緊急時を含めた健康管理

○基本的事項

- 1 利用者数（3月末日現在） 単位：人

年度	契約者数	うち要医療的ケアの人
R6	17	12
R5	20	14

*全員が重症心身障害者認定及び障害支援区分6

- 2 年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R6	238	12	1,777	62.2%
R5	238	10	1,813	76.2%

*松が丘園祭の振替休日を設けなかった。

- 3 入退所の状況 単位：人

	人数
入所	0
退所	3

○実施結果

- 1 日中プログラム

	プログラム等	実施日回数等	内容
1	近隣への外出・散歩		淵野辺公園や近隣の散策を行った
2	本人の意思を尊重した創作活動・園芸活動		鯉のぼり飾りつけ、菖蒲湯で足湯、園芸活動、七夕を楽しむ、自己紹介カード制作、シャボン玉を楽しもう、夏祭り、ゲーム大会、怪談話を楽しむ、読書の秋を楽しむ、名月を楽しもう、ハロウィン、クリスマス演奏会、年賀状作成、書初め、正月遊び、温泉気分で足湯、節分豆まき、ひな祭りを楽しむ、アルバム作成、ゲームを楽しむ、楽しく体を動かそう、虫歯予防しよう、レクリエーション大会、アロマで心地よ

			さ探し、カレンダー制作、初詣の気分を楽しもう、和泉保育園との交流、自立訓練事業のよさこい見学
3	社会体験	1/23 2/17 3/14 3/19	「電車に乗る」 ・橋本ミウイ(橋本駅) ・横浜あゆみ荘(都築ふれあいの丘駅) 「町田リス園」
4	作業活動		・CD、DVD 分解、分別作業 *生活介護②利用者と協力しながら実施 ・ベーカリー「麦の穂」販売応援 *ベーカリー班利用者と協力しながら実施 ・工賃支給(1日につき一人10円支給)

2 医療的ケア

栄養剤や水分、ミキサー食の注入や喀痰吸引等の医療的ケアを実施した。

医療的ケアの実施状況

単位：回

年度	注 入	吸 引	吸 入	酸素吸入	その他	合 計
R6	803	628	163	134	142 (人口呼吸器管理 40)	1,870
R5	898	687	132	104	142 (人工呼吸器管理37)	1,963

3 安楽な環境の支援

1	姿勢(ポジショニング)の調整と工夫	看護研修で取得した、ポジショニングに関する知識を活用し、利用者の個に合わせた姿勢を検討し、実施した。
2	リラクゼーション	利用者に対し、声かけを伴うマッサージを行い、利用者が安楽な状態を引き出した。
3	安全・安心な活動空間の整備	利用者の特性や、その時の全身状態や心理に合わせた、安心できる空間を作り出すために、ベッドや車いす等の配置を精査し、環境設定した。

4 一人ひとりの状況に合わせた安全な送迎を、リフト車等を利用して行った。送迎時に利用者の状況について、家族との情報共有を行った。

送迎回数

単位：回

年度	リフト車	ワゴン車等	合 計
R6	1,184	183	1,367
R5	1,084	276	1,360

5 医療的ケア委員会

嘱託医その他必要な職員の参加による医療的ケア委員会を開催し、医療的ケアの情報共有及び安全性の確保と適正な実施のための検討を行った。

開催回数	開催日・内容
12回開催	4/24、5/29、6/19、7/24、8/21、9/18、10/23、11/13、12/18、1/22、2/19、3/12 嘱託医と連携し、その時期に流行している感染症等の情報を受けると共に、医療的ケアについての情報共有と安全性の確保と適正な実施に向けた助言を受けた。

6 職員の資質向上

相模原市内において重症心身障害児者の支援に携わる、または今後携わる職員を対象に、必要な知識・技術の習得及び専門性の向上のための研修を行った。

- (1) 重症心身障害児者の総合的な理解と介護技術向上のための体系的な研修（地域障害者施設支援事業との共催）

研修名	内容
相模原市重症心身障害児(者)・医療的ケア児等看護研修	【重症心身障害児(者)の「こころ良さ」を目指して】 講義 1回(9/10)、演習 1回(10/10) 【重症心身障害児(者)の摂食について ～口から食べる楽しみを安全に～】 講義2回(10/2、10/16)、 演習1回(11/7)

- (2) 摂食・ポジショニング等のケア検討会

研修名	内容
摂食ケア検討会	11月13日開催 利用者通所時に、専門講師を招き、利用者個々の摂食状況を観察、助言をいただき、利用者の摂食ケアについて理解を深めた。

- (3) 看護師や生活支援員のスキルアップを目的とした高度医療ケアの必要な障害児者に関する専門研修

(1) の研修を事業所内看護師及び生活支援員が受講することで専門的技術向上を図った。

7 気管カニューレ抜去時等や体調不良等による緊急時における体制強化

気管カニューレ抜去時等や体調不良等緊急時における連絡体制及び対応を想定した訓練及び振り返りによる緊急時マニュアル等の見直しを行った。

開催日	訓練内容
11月7日	・緊急時に使用する物品の置き場所を確認し、緊急時でも物品を探さず、円滑に対応ができるよう図った。 ・医療用品確認。(酸素ポンベの充填、アンビューバッグ確認) ・緊急連絡ベルのテスト動作。

8 関係機関との連携

- (1) 重症心身障害児者ネットワーク会議の事務局の役割を担った。

会議名	開催回数	開催日・内容
重症心身障害児者ネットワーク会議	4回開催	5/30、8/29、11/28、2/27 市内重症心身障害児者の支援者間のネットワーク構築及び、課題検討等を目的に、事務局として会議運営を行った。

(2) 神奈川県重症心身障害児者関係施設協議会への参加

部会名	参加日・内容
通所部会 (5回開催)	5/28、7/23、9/24、11/26、1/28 参加 県内の重症心身障害者が通所する施設が集い、課題や情報を共有し、活動報告を行うことで、施設間の連携力を強めた。
看護部会 (5回開催)	7/2、9/3、11/5、1/7 参加 県内の重症心身障害者が通所する施設の看護師が集い、日頃の医療的ケアや利用者への支援等を情報共有し、より専門性を高めた。
幹事会 (12回開催)	4/19、5/10、6/14、7/12、8/9、9/13、10/11、11/21、1/10、2/14、3/14 参加 神奈川県重症心身障害児者関係施設協議会の運営として各部会、研修、関係機関との連絡会等を実施し、神奈川の RYOUIKU 第48号の編集を行った。

(3) 医療的ケア技術向上支援のための市内生活介護事業所等への訪問

医療的ケアについて理解促進のため、市内の医療的ケアを取り入れていない事業所（5事業所）へ電話連絡を行った。

3 障害者支援センター多機能型事業所

(4) 生活介護事業② (令和6年4月より開所)

○事業の概要

病気や事故等で身体等に障害があり、働きたいと望んでいるにも関わらず通所に制限がある方の働きたい気持ちに寄り添った作業提供を行う。

○重点目標

- 1 利用者が元気にやりがいをもって作業できるよう作業やプログラムを提供する。
- 2 働きたい希望はあるが通所に制限のある方の積極的な受入れ。

○基本的事項

- 1 利用者数 (3月末日現在) 単位：人

年度	契約者数	区分内訳	
		区分5	1
R6	6	区分4	3
		区分3	2

- 2 年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R6	237	10	1,094	46.2%

- 3 入退所の状況 単位：人

	人数
入所	0
退所	0

○実施結果

- 1 作業能力向上プログラム

- (1) 企業受注作業 (企業下請け、名刺印刷)

時給50円を支払い、個々のペースで作業ができるよう配慮した。

年度	工賃合計	延べ支給人数	平均工賃(月額/人)
R6	330,550円	70人	4,722円

- (2) 個々の適性に配慮した作業提供

年間で実施した作業種目

- ア CD、DVDの分別作業 (リサイクル会社からの依頼)
- イ 箱折り作業
- ウ 名刺印刷
- エ 食堂管理 (ふきん洗濯、喫食状況確認票の日々設置及び集計、手洗い石鹸の管理)

2 自立促進プログラム

	プログラム等	実施日	内 容
1	将来について考える講座 「グループホーム」	3月12日	日頃の利用者からのニーズを確認したところ、親亡き後の住処は、グループホームではなく、今居住している家に住み続けたいと考える利用者が多かった。2の「成年後見制度」で将来について、利用できる資源の理解を深めることとした。
2	地域の社会資源を知る「成年後見制度」	3月12日	親亡き後の具体的な生活のイメージを深め、成年後見制度の重要性を認識することができた。
3	健康プログラム	12月10日	淵野辺公園で「乗馬体験」
4	身だしなみ講座(応用編)	12月23日	加齢による体の変化について「におい」

3 その他

	プログラム等	実施日	内 容
1	社会体験	2月27日	貸し切りバスの利用により、野毛山動物園・横浜中華街散策。
2	実践発表	11月1日	「職業リハビリテーション研究・実践発表会」で職員と共に日頃の活動を発表した。
3	外出	1月29日	津久井観光センターへ外出。

3 障害者支援センター多機能型事業所

(2) 自立訓練（生活訓練）事業

○事業の概要

特別支援学校卒業生等で、将来的に一般就労を目指す若年障害者に対し、就労に向けた準備や、自立した生活を目指すための経験や技術を獲得できる多様なプログラムを提供する。

○重点目標

- 1 利用者が、ひとりでも余暇活動を楽しめるよう「生活の中の余暇活動」を検討する機会をプログラムで提供する。
- 2 利用者が自立訓練事業での生活や、自身が考えている事等を地域の支援機関の人や、外部の人に発表することで、自信が身につく、利用者それぞれの力添えとする。

○基本的事項

- 1 利用者数（3月末日現在）単位：人

年度	契約者数
R6	10
R5	12

- 2 年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R6	237	14	2,284	68.8%
R5	238	18	2,800	65.5%

○実施結果

- 1 作業能力向上プログラム

企業受注作業

年度	工賃合計	延べ支給人数	平均工賃(月額/人)
R6	173,270円	120	1,444円
R5	149,990円	156	961円

- 2 就労準備基礎プログラム

	プログラム	実施日、回数 人数等	内 容
1	企業見学	10月29日	株式会社 ワタキューセイモア
2	インターンシップ(職業体験)	延べ3人 延べ6日間	けやき体育館(掃除)
3	ビジネスマナー講座	5月16日 6月20日 11回開催 7月24日 2月19日	就労の心構え ルールとマナー 就労者に話を聞く ビジネスマナー講座① ビジネスマナー講座②
4	履歴書の書き方	11月21日	自分の履歴書を書いてみる
5	仕事体験	3月17日	スーパーのバックヤード体験

3 自立促進プログラム

	プログラム	実施日、回数 人数等	内 容
1	生活力を高める講座(制度について)	1月16日	一人暮らしに必要なものとは?(電気、ガス、水道、家賃、ゴミ、買い物)
2	コミュニケーショントレーニング	随時個別	利用者が課題と思われる行動や発言をした際に、ともに振り返る
3	金銭管理	7月29日	小遣い帳記帳練習
4	創作講座	随時	よさこい用はちまきづくり、名札づくり
5	保健衛生講座 「感染症予防対策」	2月7日	人体に影響のあるウイルス、菌等について理解を深める
6	家事講座	8月7日 10月18日 12月18日	靴の洗い方 洗濯 ゴミの分別
7	自分の将来を考える講座	8月27日	グループワークで、それぞれの考えを共有した

4 資格取得促進プログラム

	プログラム	実施日、回数 人数等	内 容
1	ビルメンテナンス講座	6月～9月 10人受講	ビル清掃の基礎的な技術を学んだ
2	サービスケアサポーター・介護職員初任者研修	9月～2月 6人合格	介護職員初任者研修(旧訪問介護員(ホームヘルパー)2級養成研修)
		79月～2月 10人取得	サービスケアサポーター

5 体力増進プログラム

	プログラム	実施日、回数 人数等	内 容
1	よさこい	110回実施	体力がつき、表現することで自信につながった。
2	パークゴルフ	2回実施 延べ20人参加	パークゴルフ協会のサポートのもと実施

6 ライフサポート講座

	プログラム	実施日、回数 人数等	内 容
1	安心安全	10月21日	防災対策
		10月21日	防犯対策
		1月23日	交通安全
		1月24日	公共交通機関のルール
		11月7日	スマートフォン安全利用
2	食育	4月18日	(基礎編) 食育講座
		5月23日	衛生管理

		6月28日 7月29日 9月4日 9月9日 11月29日	(実践編) 食事のマナーを知る バーチャルレストラン カロリーについて コンビニ弁当について 季節の料理を知る
4	自立生活力向上	1月16日 3月7日	「グループホームを学ぶ」 「地図を見て目的地へ行く」
5	制度の利用	1月16日	「生活に必要な事務手続きについて」

7 その他

	プログラム	実施日、回数 人数等	内 容
1	社会人研修	3月14日	自身の社会人を試すため、事業所独自に作成したテストを受験した。
2	地域との交流活動	2月24日	放課後等デイサービスとのイベント (よさこい、紙芝居等)
		7月6日 10月12日 11月23日 12月22日 12月7日 2月16日	【よさこい発表】 津久井支援学校 ほかほかふれあいフェスタ さがみはらゆめプロジェクト 文化芸術祭 シルバータウン大野台ケアセンター さがみはらゆめプロジェクト
		6月10日 1月30日	【進路選びのためのゲストスピーカー】 ピア高等部 相模原支援学校橋本分教室
3	余暇支援講座(余暇の必要性を学ぶ)	3月21日	利用者それぞれが、余暇の過ごし方を発表しあった。

3 障害者支援センター多機能型事業所

(3) 就労移行支援事業

○事業の概要

一般就労を希望する障害者に、作業や施設外就労を通じて就職の場の実践的な訓練を行うとともに、職業準備性を高めることを目的としたプログラムを実施し、一人ひとりにあった就労先を確保する。

○重点目標

- 1 利用者が就職した際に、安定した就職生活が送れるよう、職業評価及びTTAP（ティータップ）^{*1}により、自身の強みを知り、プログラム等により自信を持つことで、就労定着を図る。
- 2 施設外就労を行うことで、就職に必要な実践的なスキルを習得することを目指す。

○基本的事項

1 利用者数（3月末日現在） 単位：人

年度		契約者数	合計
R6	ベーカリー班	2	9
	企業受注班	7	
R5	食品喫茶班	4	7
	企業受注班	3	

2 各月の契約者数の推移（当該月の最大値） 単位：人

年度/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年平均
R6	12	12	11	11	11	11	10	10	10	10	9	9	10.5
R5	8	8	8	8	9	9	7	7	7	7	7	7	7.7

3 年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R6	237	14	2,366	71.4%
R5	238	18	1,624	37.9%

4 就労状況

年度	人数	就労先
R6	5	三菱重工業(株)、(株)オープンアップウィズ、ミヤジフーズ(株)、アマゾンジャパン合同会社、日産自動車(株)、
R5	2	(株)オープンアップウィズ(旧(株)ビーネックスウィズ)、ミヤジフーズ(株)

○実施結果

1 作業能力向上プログラム

	作業種類	内容
1	企業受注作業	箱おり、DVD分解・清掃、洗濯袋たたみ
2	施設外就労	ワタキューセイモア(株)のクリーニング工場でのたたみ作業

年度	工賃合計	延べ支給人数	平均工賃(月額/人)
R6	1,817,950円	124	14,661円
R5	1,322,130円	89	14,855円

2 就労準備プログラム

	プログラム等	実施日、回数人数等	内 容
1	ビジネスマナー講座	11月12日・7人受講 随時	清掃入門 面接練習
2	企業見学	延べ14人・10日	東京グリーンシステムズ(株)、(株)西原 商会、イオンフードサプライ(株)、(株)ニ コンつばき工房、三菱重工(株)、日産 自動車(株)、(株)オープンアップウィズ、 アマゾンジャパン合同会社
3	インターンシップ (職業体験)	延べ3人・26日	リコーエスポワール(株) (株)ウェルハーツ小田急
4	履歴書の書き方	随時実施	自分の履歴書を書いてみる
5	就活講座	6月14日・6人受講 2月20日・4人受講	「就職に向けたイメージづくり」 「困難な場面に遭遇したら」

3 一般就労移行支援プログラム

	プログラム等	実施日、回数人数等	内 容
1	面接対策講座 (基礎実技編)	8月1日・6人受講	
2	面接対策講座 (実践編)	8月29日・6人受講	オンライン学習プログラムを活用
3	ハローワーク 利用法講座	8月1日・6人受講	就労援助センターと連携し実施
4	求職活動支援	随時実施	自分の履歴書を書いてみる
5	職場定着支援 (相談)	6回・1名	アマゾンジャパン合同会社勤務者
6	就職ガイダンス	5月8日・7人受講	
7	職業評価	1人	職業センターの職業評価を受審した
8	TTAP (ティータップ)	1人	

4 自立促進プログラム

	プログラム等	実施日、回数人数等	内 容
1	生活力アップ 講座	11月7日・5人受講 1月23日・5人受講 3月7日・5人受講	「消費者トラブル」 「交通安全」 「地図を見て目的地を目指す」
2	こころのセルフマネ ジメント講座	12月12日・7人受講	「自分のすごいところを知ろう」
3	コミュニケーショント レーニング	随時	就職に必要なコミュニケーションの練習を、 日々の作業場面で練習

5 その他

	プログラム等	実施日、回数人数等	内 容
1	社会人研修	3月14日	自身の社会人力を試すため、事業所独自に作成したテストを受験した。
2	余暇活動支援	1月14日	「輝いているときとはどんなとき？」を話し合う
3	就労アセスメント	2名・13日間	

*1 TTAP (ティータップ) …興味や強みを明確にするアセスメントツール(自閉症スペクトラム移行アセスメントプロフィール)

3 障害者支援センター多機能型事業所

(4) 就労継続支援B型事業

○事業の概要

働くことを希望する知的障害者等が「麦の穂」の運営に主体的に関わり、利用者と職員が丸となり収入向上等の目標達成に向けて取り組むことで、働く喜びへと繋げていく。

○重点目標

- 1 利用者が「麦の穂」の運営に主体的に関わり、働く喜びを感じられるよう、利用者、職員がともに参加する収入向上にむけた会議の開催や、収支の見える化を図る。
- 2 利用者が、日々通所する中で、楽しく健康に作業に臨むことができるようなプログラムや行事を実施する。

○基本的事項

1 利用者数（3月末日現在）

年度	契約者数
R6	5
R5	14

2 年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R6	237	10	1,510	64.6%
R5	238	14	2,515	75.5%

○実施結果

1 作業能力向上プログラム

ア 食品製造、販売作業（パン、クッキー販売）

年度	工賃合計	延べ支給人数	平均工賃(月額/人)
R6	2,931,870円	94	31,190円
R5	3,085,450円	159	19,405円

イ 販売戦略会議

年度	開催回数	開催月日
R6	9回開催	7/12、8/30、9/27、10/30、11/25、12/26、1/24、2/21、3/27

2 自立促進プログラム

	プログラム等	実施日	内容
1	将来について考える講座	3月12日	利用者一人ひとりの将来の希望を確認したところ、今の家に一人で暮らすことを考えていきたいという希望が多かったため、下記“地域の社会資源を知る「手続き編」”と一体的に実施。
2	地域の社会資源を知る「手続き編」	3月12日	「手続き編」成年後見制度を学んだ。

3	みだしなみ講座	8月27日	洗顔方法について
---	---------	-------	----------

3 その他

	プログラム等	実施日	内 容
1	社会人研修	3月14日	自身の社会人力を試すため、事業所独自に作成したテストを受験した。
2	社会体験	2月27日	貸し切りバスの利用により、野毛山動物園・横浜中華街散策。新年会、作業収入向上祝賀会も兼ねて実施
3	新年会、作業収入向上祝賀会	2月27日	上記社会体験と合わせて実施した

3 障害者支援センター多機能型事業所

(5) 就労定着支援事業

○事業の概要

就労移行支援事業等の利用を経て一般就労した障害者に対し、ひとり一人の契約者が持ち前の力を雇用先で発揮できるよう、企業や家庭等と連携を図り、職場定着に必要な支援を行う。

○重点目標

契約者がそれぞれ余暇活動を活用することで、明日からの働く意欲の向上と職場定着を図る。

○基本的事項

1 契約者数（3月末日現在） 単位：人

年度	延べ契約者数	総利用者数
R6	18	181
R5	17	173

○実施結果

1 職場定着支援

(1) 就労者の職場定着を支援するため、企業への巡回訪問や、利用者や家族等の面談を行い、企業や家庭との連携を図った。

単位：件

年度	契約者が就労する 企業への定期的な 訪問	契約者の来訪に よる面談	生活支援 (電話訪問等)	合 計
R6	47	160	56	263
R5	31	156	72	259

(2) 余暇活動への意識向上を目的としたホームカミングデーの開催

契約者が松が丘園を訪れ、自立訓練事業で実施しているよさこいソーラン節の練習に参加し、指導等を行った

2 支援企業状況

単位：人

就 労 先	対象者数
(株)オープンアップウィズ	3
生活協同組合 パルシステム神奈川相模センター	1
(株)ヤオコー 八王子鎌水店	1
(株)ワールドスタッフィング	1
(株)キュービーネット(はーとふる農園)	1
三菱重工業(株)MHIファシリティサービス(株)	6
医療法人相愛会相愛病院	1
第五電子工業(株)	1
(株)ニコンつばさ工房	1
(株)ホンダカーズ神奈川西 u-select 相模原中央	1
(株)ミyajifoods	1

5 銀河

(1) 生活介護事業

○事業の概要

地域において安定した生活を営むため、常時介護が必要な障害者に対して、一人ひとりの個性に合わせた日中活動を提供し、「今日も楽しかった」の笑顔を大切にして、楽しく安心して過ごせるよう支援する。

○重点目標

- 1 家族や関係機関と連携を強化し、心身の状態の変化に合わせた支援を適切に行う。
- 2 自身で選択して決める場面を設定し、自己決定や意思を尊重した支援を行う。
- 3 親亡き後の将来を見据えて、今から取り組んでいくことを家族、関係者とともに考える。

○基本的事項

- 1 利用者数（3月末現在）単位：人

年度	契約者数
R6	43
R5	43

- 2 年間利用状況

年度	開所日数	定員（人）	延べ利用人数	利用率
R6	237	40	7,897	83.3%
R5	237	40	7,789	82.2%

○実施結果

- 1 日常生活の支援

利用者の現状と将来に向けての課題を明確にして取り組んだ。

- (1) 個別支援計画の作成

対象人数	実施内容
43	6か月に1回以上作成

- (2) 相談支援

随時相談支援を実施した。

- (3) 健康診断・健康相談

	実施機関等	実施日
健康診断	相和会産業健診センター	9/17
健康相談	青葉ふたまたクリニック 二俣医師	4/12、5/10、6/14、7/12、8/9、9/13、10/11、 11/8、12/13、2/14、3/14

- 2 送迎

安全を第一に、利用者の利便性に配慮したルートで送迎した。

3 食事の提供

アレルギーや摂食機能に配慮した食事を提供した。

4 日中活動・活動プログラム

	プログラム名	内容及び実施日等
1	創作活動(手工芸など)	工作、小物、季節に合わせた作品等
2	音楽活動	音楽鑑賞、ピアノ絵本等
3	園芸活動	花木の手入れなどの園芸活動 花壇ボランティアの協力による「花のまちづくり、みどりいっぱい運動」への参加
4	健康づくり(散歩・ダンスなど)	ラジオ体操や散歩、ダンス、エクササイズ(スクワット、腹筋等)、サイクルマシなど
5	マイチョイス(音楽・体操・図工など)	4/8、5/27、6/3、7/1、8/5、9/2、10/7 11/11、12/2、1/20、2/3、3/3
6	レッツミュージック	4/19、5/10、6/14、7/12、8/2、9/20 10/18、11/22、12/13、1/17、2/21、3/14
7	エクササイズ(体操・ヨガなど)	・体操 4/15、5/20、6/17、7/22、8/26、9/30、10/21、 11/18、12/16、1/27、2/17、3/17 ・ヨガ 4/9、4/23、5/14、5/28、6/11、6/25 7/9、7/23、8/6、8/20、9/10、9/24 10/8、10/22、11/12、11/26、12/10 12/24、1/14、1/28、2/4、2/25、3/11 3/25
8	ドライブ	市内のドライブを楽しんだ
9	カラオケ	ホールや活動室でカラオケを楽しんだ
10	リラクゼーション(エアートランポリン・光や音の感覚を楽しむ)	ホールや静養室で、エアートランポリン、サイドグローを楽しんだ
11	市内施設見学 (市立博物館・JAXAなど)	未実施

5 行事

	行事名	内容及び実施日等
1	お楽しみイベント	10月～3月 13グループ (バーベキュー、デザート作り、レストラン、多摩動物園)
2	銀河の森フェスタ	・フランクフルトを食べよう 10/22 ・ワッフルを食べよう 10/10 ・ハロウィン仮装撮影会 10/11～10/17 ・銀河内作品展 11/5～11/13 ・自主製品販売会 10/7～10/23
3	映画鑑賞	4/30、5/31、6/29、7/31、8/30、9/26、10/31 11/29、12/27、1/31、2/27、3/28
4	お花見	淵野辺公園の桜並木を楽しんだ。
5	夏祭り	8/6～8/9(2回に分けて実施)

6	松が丘園祭	・活動写真展示 ・自主製品販売
7	忘年会・新年会	・忘年会 12/17～12/20(各活動班で実施) ・新年会及び二十歳を祝う会 1/23
8	お茶会	3/26～3/27(2回に分けて実施)
9	浴衣撮影会	7/4～7/19
10	作品出展	フジノ・ボーダレスアート「いろとりどり展」出展 11/9～11/17
11	自分発表会	利用者が、見学者へ対して取り組んでいる活動を紹介した。

6 地域交流・ボランティア受け入れ

		実施日等
1	カット(理容)ボランティア	4/15(2名来所、カット12名) 7/22(2名来所、カット13名) 12/16(2名来所、カット14名)
2	花壇ボランティア	5/30(3名来所)、10/30(3名来所)
3	学生ボランティア	和泉短期大学ふれあい体験受け入れ 2名
4	その他ボランティア	受け入れなし。
5	近隣大学との交流	・介護等体験実習受け入れ 7名(延べ80日) 和泉短期大学、田園調布学園大学 聖ヶ丘教育福祉専門学校 ・福祉現場体験受け入れ 3名(延べ6日) 和泉短期大学

7 その他

- (1) 苦情解決・権利擁護
記載すべき内容はなし

- (2) 福祉オンブズマンネットワーク活用

内容	来所日
・利用者個別面談	4/12、5/14、6/4、7/9、9/20
・活動の様子確認	10/8、11/12、12/13、2/7、3/4

- (3) 利用者満足度調査の実施

実施期間	配布数	回答数
11/4～11/29	43	32

- (4) 防災訓練の実施

内容	実施日
総合防災訓練	6/26、11/28
避難訓練	4/11、5/9、7/11、8/8、9/19 10/10、12/12、1/9、2/13、3/13

(5) 「銀河だより」発行

内 容	発行月
新規利用者及び職員紹介	4月
前期活動の様子	9月
後期活動の様子	3月

(6) 家族報告会

内 容	実施日	人 数
・活動や行事の紹介 ・意見交換	9/27	・出席 19名 ・活動紹介DVD配布 23名
・サービスや制度について知ろう ・質疑応答	2/28	・出席 15名 ・活動紹介DVD配布 22名

(7) 事業所PRの実施

見学者等へ事業所のPRを実施した。

単位：人

受け入れ先等	延べ受け入れ人数
利用者及び家族、相模原支援学校、相模原中央支援学校 相模台中学校、相談支援専門員など	40

8 研修

(1) 外部派遣研修

単位：人

内 容	派遣人数
強度行動障害支援者研修	1

(2) 内部研修

内 容	実施日
障害特性の理解	8/8
安全運転確認	4/19、5/30、6/25、7/31、8/30 9/27、10/31、11/27、12/25、1/30

4 銀河

(2) ガイドヘルプサービス事業

○事業の概要

移動・外出に困難を有する障害者を対象に、移動の援護、排泄・食事等の介助、代筆・代読を含む視覚的情報の支援などを行うガイドヘルパーを派遣し、社会参加の保障及び余暇活動の充実による豊かな暮らしの実現を支援する。

○重点目標

利用者の身体状況等に配慮して安全に外出できるよう、状況把握やヘルパーへの指導を行うとともに、関係機関と連携する。

○実施結果

1 ガイドヘルプサービスの提供

(1) 移動介護

年度	契約者数	利用件数	延べ利用時間	平均利用時間
R6	38	580	2,043 時間 30 分	3 時間 31 分
R5	34	570	1,944 時間 30 分	3 時間 24 分

(2) 通院介護

年度	契約者数	利用件数	延べ利用時間	平均利用時間
R6	16	139	302 時間 30 分	2 時間 10 分
R5	16	155	361 時間 00 分	2 時間 19 分

(3) 同行援護

年度	契約者数	利用件数	延べ利用時間	平均利用時間
R6	46	2,167	9,678 時間 00 分	4 時間 28 分
R5	48	2,269	9,835 時間 00 分	4 時間 20 分

(4) コーディネート

ヘルパー派遣のコーディネートを行った。

2 ガイドヘルプサービスの質の向上

(1) 採用時研修（採用後 1 か月以内）

内 容	実施日	人数
・ガイドヘルパー業務について	7/10、10/1	4
・報告書及び活動の記録の記載方法について	1/9、2/10	

(2) 定期研修

内 容	実施日	人数
・「登録ガイドヘルパーマニュアル」の確認 ・虐待防止研修	4/18、4/19 ※	35

・ヘルパーの情報交換、交流 グループワーク「日頃の支援を振り返る」	12/12、12/13 ※	29
・利用者家族のガイドヘルプサービスへの思いを聞く。 ・虐待防止セルフチェックリスト	3/6	27

※同内容で2回に分けて実施

(3) フォローアップ研修

内 容	実施日	人数
・同行援護フォローアップ 「同行援護の基本を振り返る」 ・虐待防止セルフチェックリスト	10/3、10/15 ※	32

※同内容で2回に分けて実施

(4) 支援方法を共有するためのケアカンファレンス

コーディネーターから情報集約・発信し、ヘルパーと支援方法を共有した。

3 資格取得研修の開催

(1) 知的障害者ガイドヘルパー養成研修（一般向け）

実施期間	人数
・座学(13時間)7/20～7/21	12
・実習(6時間)7/30～7/31	

(2) 知的障害者ガイドヘルパー養成研修（和泉短期大学受託事業）

実施期間	人数
・座学(13時間)10/1～10/2	19
・実習(6時間)11/1～11/25	

4 関係機関との連携

(1) 市及び地域の福祉サービス提供事業者、相談支援事業者との連携

市ケースワーカー、相談支援専門員、ケアマネージャー等と連携しガイド派遣を行った。

5 障害者支援センター

(1) 障害者地域就労援助センター事業

○事業の概要

障害者及びその家族、企業等に対し、就労・雇用に関する相談、指導、情報提供を行うことにより、障害者等の就労支援及び雇用促進を図り、多様なニーズに応じていく。

なお、「障害者就業・生活支援センター事業」、「相模原市発達障害支援センター就労支援事業」との一体的な運営を行う。

○重点目標

重度身体障害者、重度知的障害者及び精神障害者について、週所定労働時間10時間から20時間未満（いわゆる「短時間雇用」。以下同じ）での障害者法定雇用率の実雇用率算定に伴い、短時間雇用の実現に向けた取組を行う。

○実施結果

1 就労相談

(1) 障害者等に対する多様な働き方に関する相談の実施

ア 登録者数 単位：人

年度	登録者数
R6	1,311
R5	1,219

イ 新規相談者及び新規登録者 単位：人

年度	新規相談者数	新規登録者数
R6	147	122
R5	124	115

ウ 相談件数

単位：件

年度	障害種別				
	身体	知的	精神	その他	合計
R6	392	2,352	1,876	46	4,666
R5	210	2,213	1,739	57	4,219

(2) 事業主に対する雇用管理等に係る助言等

ア 就労者数 単位：人

年度	就労者数	就労定着者数
R6	61	563
R5	61	470

※就労定着者数：年度末時点において5年以上同一の会社で継続して働く登録者の数

イ 事業主への相談件数

単位：件

障害種別 年度	身体	知的	精神	その他	合計
R6	76	820	586	59	1,541
R5	83	782	457	42	1,364

- (3) けやき体育館との連携による就労相談窓口「障害者地域就労援助・けやき相談センター」を活用した相談業務の実施

単位：件

年度	新規相談件数	継続相談件数
R6	20	521
R5	43	258

2 就労促進

- (1) 相模原市勤労者福祉サービスセンターとの連携による職場体験事業「あじさいメイツ職場実習」の実施

年度	延べ参加者数	回数
R6	12人	4回
R5	13人	4回

- (2) 就労準備講座の実施

年度	延べ参加者数	回数	主な内容
R6	18人	2回	求人票の見方、面接の受け方、面接練習
R5	13人	4回	同上

- (3) けやき体育館との連携による「けやきカフェ等」を活用した就労体験実習の実施

年度	延べ参加者数	回数
R6	9人	9回
R5	11人	11回

- (4) 大学及び関係機関との連携による、障害等で就労支援が必要な学生のための支援の実施

年度	訪問等回数	連携先
R6	3回	相模女子大学、嘉悦大学、横浜商科大学
R5	3回	相模女子大学、嘉悦大学、駒澤大学

3 職場開拓

- (1) 短時間雇用創出事業（市内企業に対する、いわゆる短時間雇用に関する啓発及び実習受入企業等の開拓）

企業訪問・相談等	新規開拓	短時間就労者数
26件	22件	13人

(2) 雇用・就労に向けた登録者と企業の適切なマッチング

単位：件

年度	開拓状況	協力企業	検討中企業
R6	1,524	61	16
R5	1,365	41	7

(3) 工賃アップ支援事業と連携した企業開拓

単位：件

開拓状況
22

4 職場定着支援

長期の就労定着を見据えた計画的な職場訪問の実施

単位：件

年度	職場訪問件数
R6	401
R5	392

5 無料職業紹介事業

職業安定法に基づく、登録者からの求職受付、企業等からの求人受付並びに斡旋紹介

年度	事業所登録数	求人件数	求職票提出件数	紹介件数	就職件数
R6	9	23	122	23	23
R5	14	26	115	26	26

6 登録者支援

(1) 登録者を対象とした、職場対人技能トレーニング（JST）*1講座の実施

年度	実施回数	参加人数(延べ人数)
R6	2回	5人
R5	2回	5人

(2) けやき体育館との連携による登録者の集まり「さんさんサロン」及びフォローアッププログラムの開催

ア さんさんサロン

年度	日時	実施回数	延べ参加者数	内容
R6	6月16日ほか	5回	59人	居場所として活用。日常出来事を話したり、けやき体育館で行われる行事の見学や参加など
R5	6月18日ほか	9回	36人	同上

イ フォローアッププログラム

実施日	参加者数	場所	内容
9月28日	14人	カラオケ MAC's 古淵	お出かけをしよう～カラオケに行こう～
5月26日	12人	市立博物館	お出かけをしよう～市立博物館に行こう～
1月25日	26人	相模原パークレーンズ	「ボウリング大会」

3月17日	26人	中華居酒屋大唐	中華を食べに行こう！
-------	-----	---------	------------

(3) 「就労援助センター情報」の発行

発行月	配布先
5月・8月・12月	就労援助センター登録者

7 市内の就労支援事業者等に対する支援

市内の就労移行支援・就労継続支援事業所等への障害者の就労支援に関する助言援助

単位：件

年度	他支援機関への助言・支援件数
R6	217
R5	146

8 関係機関等との連携及び就労支援ネットワークの構築

(1) さがみはら精神障害者就労支援協議会への参加

なし（当協議会が解散のため）

(2) NPO法人障害者雇用部会への参加

日時	参加回数	内容
4月23日ほか	7回	NPO法人障害者雇用部会 定例会及び分会への参加

9 職員の資質向上

専門スキルを向上させるための各種研修会への参加

年度	参加回数
R6	57
R5	36

- * 1 職場対人技能トレーニング（JST=Job related Skills Training）…ロールプレイや意見交換を通して職場で必要となる対人コミュニケーションのスキルを付与するもの

5 障害者支援センター

(2) 障害者就業・生活支援センター

○事業の概要

就職希望の働く上で障害のある者（以下「障害者等」という）や在職中の障害者等に対して、雇用及び福祉の関係機関との連携の下、就業面及び生活面の一体的な支援を行い、多様なニーズに応じていく。

なお、「障害者地域就労援助センター事業」、「相模原市発達障害支援センター就労支援事業」との一体的な運営を行う。

○重点目標

地域の支援機関や関係機関の連携を図るハブ機関として、地域におけるネットワーク形成や、支援機関及び企業の支援担当者等への支援ノウハウ移転等により地域全体の支援水準の底上げを図る。また、社会全体が高齢化していく中、長期継続雇用されている中高年齢等障害者を支援するとともに、個々の障害者の状況に応じて事業主が実施する取組を支援するための相談を行う。

○実施結果

1 相談・支援業務の実施

(1) 障害者等に対する必要な支援及び、助言その他の援助

「5 障害者支援センター（1）障害者地域就労援助センター事業 1（1）参照」

(2) 中高年齢等障害者の継続雇用に関する相談支援

対象者	定着支援
1人	2件

(3) 事業主に対する雇用管理等に係る助言等

「5 障害者支援センター（1）障害者地域就労援助センター事業 1（2）参照」

(4) 職業準備訓練を受けること及び職場実習を行うことのある者

単位：件

年度	実習件数
R6	46
R5	30

(5) 関係機関と連携したケース会議の開催及びこれらの機関との連携

単位：件

年度	他支援機関への助言・支援件数
R6	217
R5	146

(6) 登録者の就業状況及び生活状況の実態調査及びニーズの確認

単位：枚

実施期間	送付数	回収数	結果
7/1~26	440	163	定期的な企業訪問や障害特性・生活面の支援など、より個別ニーズにあわせた支援を求める意見が多くあった。結果を踏まえ、個別ニーズに寄り添った支援の展開を検討する機会とした。

2 地域の就労支援力底上げのためのネットワーク形成・セミナー等の実施

(1) 地域における関係機関とのネットワーク形成のための会議、交流会等の開催

ア ハローワーク相模原との共催による雇用移行推進連絡会議の開催

名称	主催	実施日	場所	出席者	内容
雇用移行推進連絡会議	当センター (ハローワーク相模原と共催)	5月14日 ほか計6回 (隔月第2火曜日)	エコパークさがみはら(対面+オンライン)	構成37機関 延べ194名	地域における関係機関とのネットワーク形成のための会議、交流会として、ハローワーク相模原と連携し、情報交換を行った

イ 相模原障害者就労定着支援連絡会議の開催

雇用移行推進連絡会議に集約したことから未開催

(2) 職員を講師とした、他の支援機関等へのノウハウ移転を図るための研修「就労援助セミナー」の開催

名称	主催	実施日	場所	出席者	内容
相模原地域における就労支援機関の概要	当センター	5月14日	エコパークさがみはら	26機関 37名	当センターの業務説明と年間の予定について

(3) 企業担当者等との交流会、相談会の開催

ア 企業交流会

名称	主催	実施日	場所	出席者	内容
障害者雇用に向けた企業交流会「ともに働く」	神奈川県雇用促進センター	11月26日	海老名市文化会館	19名	障害者雇用をしている企業による取組報告とグループワーク

イ 就職面接会

日時	実施場所	主催	参加者	内容
9月4日	ソレイユさがみ	ハローワーク相模原	企業:14社 求職者:72名(延べ91名)	求職者の就職の機会確保と企業理解促進を目的として実施
11月12日 11月13日	けやき体育館	ハローワーク相模原	企業:8社 求職者:30名(延べ31名)	求職者の就職の機会確保と企業理解促進を目的として実施

(4) 近隣の障害者就業・生活支援センター同士のノウハウ共有のための研修、交流会の開催

名称	主催	実施日	開催方法	出席者	内容
神奈川県障害者就業・生活支援センター連絡会議	湘南東部障害者就業・生活支援センター	8月23日 2月6日	ココテラス 湘南	3名 4名	各センターの取組状況についての意見交換、ケース検討等

3 職場定着及び就労促進に係る効果的な支援メニューの実施

(1) 職場定着促進のための在職者交流活動としてグループワーク等を実施

実施日	参加者数	場所	内容
6月18日	11	けやき体育館	「こんな時どうしたらいいかな？」
8月18日	8	けやき体育館	「ズバリ！私の頑張っていることはこんなこと」
11月17日	10	けやき体育館	「10年後はどんな自分になっていた？」
12月15日	14	けやき体育館	「来年度の交流会企画会議」
2月16日	16	けやき体育館	「忘年会」

(2) ピアサポート活動

実施日	参加者数	場所	内容
8月1日	13	松が丘園	「就職活動について」「履歴書の書き方」「面接時に注意すること」の講義のあと、参加者による話し合い
8月26日	5	松が丘園	同上

4 移動相談の実施

(1) 市内北部地域の相談者向けに、緑障害者相談支援キーステーション内に相談窓口を併設

実施日	相談件数	場所	内容
毎週水曜日ほか (計53回)	75件	緑区合同庁舎	緑区在住者向けの新規相談及び継続相談実施

(2) 津久井地区における就労相談会の実施等

ア 津久井地区における就労相談

実施日	相談件数	場所	内容
9月3日ほか (計3回)	4件	津久井 保健センター	緑区津久井地区在住者向けの新規相談及び継続相談実施

イ 地域連携のためのワンストップ相談

日時	相談件数	場所	内容
6月26日ほか (計4回)	9件	ハローワーク相模原	ハローワーク相模原、神奈川県障害者職業センター、障害者就業・生活支援センターの連携による相談

5 障害者就業支援アドバイザーの設置

障害者等及びその家族、障害者雇用を検討する企業等からの相談に対応し、必要に応じて医学的（精神科）、法律的、その他専門相談の実施

日時	実施場所	内容
5月29日 ほか(計3回)	松が丘園	精神科医から、個々の精神疾患に係る対応方法について担当職員が助言を受けた。

6 国等が主催する会議・研修等への参加

(1) 都道府県連絡会議出席

日時	主催	場所	内容
10月28日	神奈川労働局	神奈川労働局会議室	障害者就業・生活支援センター都道府県センター連絡会議

(2) ブロック別経験交流会議出席

日時	主催	場所	内容
11月14日	長野労働局	松が丘園(オンライン)	障害者就業・生活支援センター南関東ブロック経験交流会議

(3) 就業支援担当者主任就業支援担当者研修及び就業支援担当者研修（初任者研修）参加

日時	主催	実施方式	内容
7月9日～12日	独)高齢・障害・求職者 雇用支援機構	オンライン	障害者就業・生活支援センター 就業支援担当者研修

5 障害者支援センター

(3) 地域障害者施設支援事業

○事業概要

障害福祉に関する幅広い研修を体系的に行うことにより、市内福祉従事者の支援技術の向上に寄与する。また、障害福祉サービス事業所等の人材確保・育成・定着、障害者の活動の場・福祉的就労の場でもある障害福祉サービス事業所等の工賃アップに向けた支援を地域と連携して行うなど、障害福祉サービス事業所・団体等の活動支援を行う。

また、ろう者の意思疎通及び情報の取得と利用のための手段である手話の普及及び手話通訳者の人材育成を行うとともに、難聴者、中途失聴者のコミュニケーションを円滑にし、社会参加促進を目的として要約筆記の普及及び要約筆記者の人材育成を行う。

○重点目標

初めて福祉に携わる職員等が、障害福祉について学ぶ機会の充実をめざし、福祉研修センターカリキュラムの拡充を行い、障害福祉分野の人材確保・人材育成・技術向上をめざす。

○実施結果

1 福祉研修センター事業

(1) 主催研修の実施

年度	回数	参加者数	出席率 (対定員)	内容
R6	78回	2,185人	95%	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉基礎研修 22回 ・支援技術向上研修 16回 ・入門コース(障害福祉職初心者を対象) 5回 ・その他研修 25回 ・障害当事者・家族・市民向け研修 10回
R5	69回	2,073人	76%	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉基礎研修 20回 ・支援技術向上研修 15回 ・その他研修 25回 ・障害当事者・家族・市民向け研修 9回

内容の詳細は巻末「令和6年度 福祉研修センター研修実施状況報告」参照

(2) 法定研修の実施

ア 強度行動障害を有する者（児）に対し適切な支援を行う職員の人材育成を目的とした強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）を、市内障害福祉サービス事業所等との連携のもと実施した。

年度	実施日				会場		
R6	11月21日(木)、11月22日(金)				けやき会館2階 職員研修所 大研修室		
	講義数	講師人数	ファシリテーター	サブファシリテーター	申込者数	受講者数	修了者数
	12回	12人	10人	2人	60人	51人	51人
R5	11月21日(火)、11月22日(水)				障害者支援センター松が丘園 研修室		
	講義数	講師人数	ファシリテーター	サブファシリテーター	申込者数	受講者数	修了者数
	12回	12人	9人	3人	82人	53人	53人

イ 強度行動障害に係る研修講師、およびファシリテーター育成のため先駆的な取り組みを実施している他市と協働し、人材育成プロジェクトチームメンバーを対象に各種視察・勉強会を実施した。また令和8年度以降の、強度行動障害支援者養成研修（実践研修）実施に向けて準備した。

(3) 福祉研修センター「入門コース」開設

福祉研修センター意見交換会の提案を採用し、障害福祉職初心者を対象にした、福祉研修センター体系に新たに「入門コース」を開設した。(年5回)

(4) 法人内連携企画

ア 特別支援学校進路先としての多機能型事業所の周知、また利用者の実践発表の場とすることで就労モチベーション向上を目的に『テーマ別研修』において、多機能型事業所と「卒業後のわたしたち」を協働企画し実施した。(年2回)

イ 相談支援事業所職員等の人材育成を目的に『支援技術向上研修（相談）』を、基幹相談支援センターと協働企画し実施した。(年1回)

(5) 事業団職員講師派遣事業

事業団職員講師派遣事業（出前講座）を実施した。(年2回)

(6) 相模原市重症心身障害児者・医療的ケア児等看護研修事業

相模原市重症心身障害児者・医療的ケア児等看護研修事業を市から受託し、実施した。(年7回)

(7) 研修受講修了証の発行

障害福祉サービス事業所等における人材の育成と研修参加へのモチベーション向上のため、該当する研修を修了した希望者に「研修受講修了証」を発行し、事業団ホームページにおいて研修受講修了証取得者情報を掲載した。また、修了証発行事業についての説明会を実施した。

年度	説明会参加者数	研修受講履歴カード作成数	修了証作成・交付人数
R6	8人	92件	15人
R5	7人	64件	13人

(8) 研修情報の集約とホームページによる発信

年度	年間件数(うち外部研修実施機関)	配布事業所数
R6	235(15)件	5,342か所
R5	224(16)件	5,392か所

(9) 研修に関する企画などの支援

ア 市内の障害福祉サービス事業所、団体等で開催する研修の企画支援を実施した。

単位:回

年度	回数	相談内容
R6	19	講師選定、研修企画、研修の周知方法等
R5	24	講師選定、研修企画、研修の周知方法等

イ 団体等の要望に応じ、事業団職員を研修講師、演習講師として派遣をした。

単位:回

年度	回数	主な派遣先
R6	57	神奈川県 ほか
R5	70	神奈川県 ほか

2 障害福祉サービス事業所等人材確保事業

障害福祉サービス事業所等の人材確保を支援するため、けやき体育館に設置した「就職情報コーナー」において求人情報の提供等を行った。

単位:件

年度	就職情報コーナー掲示数
R6	12
R5	9

3 工賃アップ支援事業

(1) 受注作業の開拓・紹介

単位:件

年度	紹介数	主な内容
R6	1,119	除草作業、軽作業、ブルーベリージャム作り、DVD 検品、ヘルプマーク、物品、施設外就労、クリーニング後のたたみ、継手作業、のぼり旗等、名刺作成
R5	989	除草作業、ポスター・チラシ、点字名刺、唐辛子のへたとり、尿検査キット封入発送業務、横断幕作成、看板、植木作成、公園のカギの施錠、情報処理、カバン作成、子育て家庭食材配布業務

(2) 就労系障害福祉サービス事業所への官公需における優先調達の支援

単位:件

受注数	契約数	主な内容
21	17	除草、物品、ヘルプマーク、のぼり旗、施設施錠管理等

(3) 生産活動に関する情報交換会の実施

今年度の工賃アップセミナーにおいて、工賃アップにつながった効果的だった点と改善点を検討し令和7年度のテーマについて検討した。(年1回)

単位:回

参加事業所数	場所
4	障害者支援センター松が丘園

(4) 障害福祉サービス事業所等の活動内容について販売会等を通じた普及啓発

ア 販売会の実施

実施数(うち新規数)	販売会売上
38(11)回	3,124,260円

イ ワークショップ、イベントの実施

単位:回

ワークショップ実施数	イベント実施数
9	18

(5) 市内受注作業希望一覧表の作成

障害福祉サービスかながわの記載に加え、新たに研修定期便にて周知した。又、松が丘園HPから登録を案内するようにした。

周知回数	新規登録事業所数
2回	5件

(6) 工賃アップセミナーの実施

単位:回

年度	セミナー実施数
R6	6
R5	7

(7) 農福連携

相模原市等と連携のもと「農福連携」の推進を図るため、農業と福祉事業所の連携における好事例を工賃アップセミナーで発表した。(年1回)

(8) 就労援助センター等と連携した企業開拓

受注作業紹介に依頼があった企業の情報を就労援助センターと共有した。(適宜)

(9) 障害者を職場につなぐセミナー

SDGsの取組みを意識した企業との連携を通じて、障害者を職場へつなぐセミナーを実施した。企業のセミナー講師からは、商品開発の仕方や作業の受注方法が提案された。(年2回)

4 障害福祉サービス事業所等の運営に関する支援

障害福祉サービス事業所等の運営支援のニーズ調査のため、地域活動支援センターⅢ型の運営委員会に出席した。(年1回)

5 団体への支援

(1) 相模原市障害者地域作業所等連絡協議会(障作連)

ア 相模原市障害者地域作業所等連絡協議会の事務局を行った。

イ 店舗でのフェア開催、販売会等を行った。また、利用者の活動啓発や生きがいにつながる連携のイベントを行った。

単位:円

年度	ハンドメイドショップ バオバブ (あじさい会館)販売会込	福祉ショップあおば (ユーコープ並木あおば店)	麦の穂 (松が丘園)	合計
R6	16,645,003	891,040	329,345	17,865,388
R5	14,659,210	755,070	340,570	15,754,850

(2) 相模原福祉オンブズマンネットワーク(ネットさがみはら)

当事者交流会を対面で開催し、会員施設の当事者及びオンブズマンの交流を図った。また、設立20周年記念研修を開催し、オンブズマン活動の歴史を会員施設の当事者、支援者及びオンブズマンと学び交流を図った。(年1回)

6 松が丘園で実施している事業の広報

松が丘園で実施している事業を広く周知するための松が丘園通信を発行した。(年3回)

7 手話通訳者等養成事業

(1) 手話講座及び要約筆記者養成講座

手話の普及及び手話通訳者の人材育成を行った。また、要約筆記者養成講座(手書きコースとパソコンコース)を実施した。

単位:人

年度	内容	受講者数	修了者数
R6	手話講座・入門基礎 (火曜日 10:00~12:00・全31回)	30	27
	手話講座・中級 (金曜日 19:00~21:00・全36回)	33	29
	手話講座・応用 (月曜日 19:00~21:00・全31回)	17	16
	手話講座・フォローアップ (水曜日 10:00~12:00・全38回)	9	8
	手話上級講座・通訳者養成課程(県委託)	3	3
	要約筆記者養成講座(手書きコース) (木曜日 10:00~12:00・全43回)	8	5
	要約筆記者養成講座(パソコンコース) (木曜日 10:00~12:00・全43回)	4	4
R5	手話講座・初級(入門) (金曜日 19:00~21:00・全31回)	31	30
	手話講座・中級(基礎編) (火曜日 10:00~12:00・全36回)	32	28
	手話講座・中級(応用編) (月曜日 19:00~21:00・全30回)	5	(修了者の設定なし)
	手話講座・フォローアップ (水曜日 10:00~12:00・全38回)	9	6
	手話上級講座・通訳者養成課程(県委託)	5	5
	要約筆記者養成講座(手書きコース) (木曜日 10:00~12:00・全43回)	7	6
	要約筆記者養成講座(パソコンコース) (木曜日 10:00~12:00・全43回)	5	4

(2) 聴覚障害のある人の理解を深める講座

単位:回

内容	実施数
聞こえにくい方のためのコミュニケーション教室	3
要約筆記体験会	1
難聴者向けソーシャルスキルトレーニング(試験的实施)	5

5 障害者支援センター

(4) 基幹相談支援センター等事業

○事業の概要

相模原市における相談支援の中核的な役割を担う機関として、地域の相談支援従事者に対する助言等の支援者支援、総合相談・専門相談、権利擁護・虐待防止、相模原市障害者自立支援協議会の運営への関与を通じた障害のある人も住みやすい「地域づくり」などの業務を総合的に行う。

○重点目標

- 1 相談支援体制の強化を図るため、令和6年度に設置された中央障害者相談支援キーテーションの支援を行う。
- 2 障害福祉サービス事業所等における虐待防止の意識向上を図るため、各法人に設置されている虐待防止委員会のネットワーク構築などの取組みを実施する。

○実施結果

1 基幹相談支援センターの運営

(1) 地域の相談支援体制の強化の取組

ア 主任相談支援専門員の配置

相談支援専門員の養成に係る実習時の助言・指導、サービス等利用計画案を作成する現場での実地教育、相談支援体制の強化と地域づくりの推進役を担う職員を配置した。

イ 相談支援アシスト

相談支援従事者に対し、相談支援に関する相談に応じるとともに、支援方法の検討などの協働支援を行った。

年度	内容	件数
R6	相談支援事業所への支援(キーテーションへのケース検討参加等を含む)	242
R5	相談支援事業所への支援	135

ウ 地域課題に対する取組

地域課題の検討会議から抽出された課題に対し、相模原市障害者自立支援協議会の関与を通じて取り組んだ。地域の課題解決のため各部会では、権利擁護・虐待防止に資する座学・グループワークを通じて学ぶ一体化した研修をパッケージ化、また人材育成に資するテキスト作成等、各部会において様々な活動を展開した。

エ 相談支援専門員向け研修

相談支援専門員の経験年数に応じた研修を実施した。

年度	内容	実施日	参加者数
R6	スーパーバイズ研修 「キーテーションと市社協 CSW によるインフォーマルな社会資源を活用した支援の実践報告会」(*)	2月14日	44
	相談支援専門員向け研修 「ソーシャルワークアプローチ研修」(*)	12月10日	24

	法定研修受講者向けフォローアップ研修 ① 相談支援従事者初任者研修受講者向け 「インターバル実習対応」 ② 相談支援従事者現任研修受講者向け 「相模原市の相談支援体制と障害者自立支援協議会」(*)	① 12月3日 12月17日 ② 8月23日	① 13 11 ② 30
R5	スーパーバイズ研修 「相模原市における相談支援 地域づくりの 実践報告会」(*)	2月5日	41
	相談支援専門員向け研修 「ソーシャルワークアプローチ研修」(*)	12月5日	30
	法定研修受講者向け ① 相談支援従事者初任者研修受講者向け 「インターバル実習対応」 ② 相談支援従事者現任研修受講者向け 「相模原市の相談支援体制と障害者自立支援協議会」(*)	① 12月1日 12月11日 ② 8月21日	① 15 16 ② 27

(*) 福祉研修センター研修一覧表再掲

オ 相談支援従事者法定研修への運営協力

相談支援従事者を育成するため、神奈川県が実施する相談支援従事者初任者研修及び相談支援従事者現任研修へ演習指導者を派遣した。

年度	内 容	コース数	派遣人数
R6	相談支援従事者初任者研修 演習指導	2コース	3
	相談支援従事者現任研修 演習指導	2コース	5
R5	相談支援従事者初任者研修 演習指導	2コース	3
	相談支援従事者現任研修 演習指導	2コース	3

カ 相談支援事業所等支援の取組

相談支援事業所等に向けて、障害福祉サービス事業所等の空き情報や詳細情報、業務に役立つ資料や活用できる地域の情報等のホームページへの掲載、オンライン等を交えた情報交換などにより相談支援業務のサポートを実施した。

年度	内 容	件 数
R6	事業所等の空き情報の更新	136
R5	事業所等の空き情報の更新	206

キ 相談支援事業所の連携強化に向けた取組

相談支援事業所が相互に情報交換を行い、連携を強化する取組みを実施した。

年度	内 容	回 数
R6	相談支援事業所の連携強化に向けた取組み	1

(2) 総合相談・専門相談

地域の相談支援の拠点として障害の種別に関わらず各種ニーズに対応できる総合的かつ専門的な相談支援を実施した。また、法律的な視点が必要な相談などは弁護士等と連携した相談支援を行った。

年度	内容	人数
R6	総相談者数	2,208
	弁護士相談	8件

(3) 虐待防止・権利擁護

相模原市の障害者虐待防止体制における普及啓発・予防の役割を担い、相模原市障害者自立支援協議会権利擁護・虐待防止検討部会と連携しながら研修を実施した。また、各事業所に設置されている虐待防止委員会のネットワーク構築に向けて情報収集を行った。

年度	内容	実施日	参加者数
R6	障害者福祉施設従事者等向け研修 ① 障害者の権利擁護について考える ② アンダーマネジメントを学ぶ ③ 身体拘束について ④ 事例を通して学ぶ ～虐待防止について考えよう～	① 10月25日 ② 11月5日 ③ 11月18日 ④ 12月19日	① 24 ② 27 ③ 28 ④ 37
	管理者向け研修 「虐待を発生させない環境づくり ～実践から学ぶ虐待防止～」	1月16日	25
	養護者向け研修 「未来に向けて今できること」	2月3日	39
	当事者対象講座 「きっと見つかる。新しい繋がり♪ ～with e-sports～」	12月15日	5
R5	障害者福祉施設従事者等向け研修 ① 改めて問う「障害者と人権」福祉を支える思想とは ② 職員のメンタルヘルス 燃えつきないためのセルフケア ③ 身体拘束の適正化について～利用者の尊厳を守りながら進められる支援～ ④ 虐待防止委員会実践報告及び意見交換会	① 9月19日 ② 10月13日 ③ 11月7日 ④ 12月21日	① 39 ② 41 ③ 32 ④ 25
	使用者向け研修 「障害者雇用について～合理的配慮と使える制度～」	10月18日	24社
	民生委員向け研修 「障害者支援についての講演会～障害者支援と権利擁護について～」	2月29日	22地区73名

福祉研修センター研修一覧表再掲

(4) 地域移行

病院等から地域へ移行し、障害のある人が自ら選んだ住まいで安心して自分らしい暮らしを実現できるよう地域移行に係る研修を実施した。

年度	内 容	実施日	参加者数
R6	医療従事者と福祉従事者による合同企画 地域移行支援の研修会	2月6日	28

2 相模原市障害者自立支援協議会

相談支援体制整備を図るとともに、権利擁護・虐待防止、人材育成、地域課題解決に向けた具体的な検討を実施するために、相模原市障害者自立支援協議会を市と協働して運営した。

年度	内 容	回 数
R6	全体会議	4
	運営会議	3(13)
	権利擁護・虐待防止検討部会	3(3)
	人材育成部会	3(3)
	緑区課題検討会	5(9)
	中央区課題検討会	3(9)
	南区課題検討会	4(2)
R5	全体会議	4
	運営会議	2(5)
	権利擁護・虐待防止検討部会	2(4)
	人材育成部会	1(7)
	緑区課題検討会	4(7)
	中央区課題検討会	4
	南区課題検討会	5

* () 内ワーキング開催数

3 社会生活力アップ

障害のある人が様々な体験などを参考に意思決定し主体的に生活できる力を高めるとともに、当事者のエンパワメントの促進、障害のある人が希望する生活につなげられるよう各種講座を実施した。

年度	内 容	実施日	参加者数
R6	ライフステージに応じた講座(*) 「未来に向けて今できること」	2月3日	39
	当事者同士の交流を促進する講座(*) 「きっと見つかる。新しい繋がり♪ ～with e-sports～」	12月15日	5
	体験型の講座 はじめの一步～なりたい自分に近づくために～	3月30日	4
	ピアカウンセリング	障害別に月1回	0
R5	社会生活技能訓練(SST)講座 ① 精神障害者向け	① 11月2日	① 5
	② 知的障害者向け	② 11月30日	② 9
	身を守る講座	12月8日	24

	「スマートフォンのリスクを考えよう」		
	自立支援促進ミーティング 「ほっとひといき話してみる会～みんなで自由に語り合いませんか?～」	11月12日	4
	家族支援講座 「こどもとのきずなを深める関りを学びませんか?」	11月25日	6

福祉研修センター研修一覧表再掲

*:1(3)虐待防止・権利擁護再掲

4 その他

(1) ソーシャルワーカーの養成支援として、大学の社会福祉士相談援助実習生を受け入れた。

年度	学校名	日にち	日数	人数
R6	大妻女子大学	7月29日～8月30日	24	1
	田園調布学園大学	8月6日～9月9日	24	1
	法政大学	9月4日～10月17日	24	1
	桜美林大学	1月28日～3月7日	24	1
	相模女子大学	2月12日～2月21日	8	1
	法政大学	3月4日～3月13日	8	1

(2) 関係機関等主催の会議に出席した。

年度	内容	参加回数
R6	中央区精神障害者地域生活支援ネットワーク会議	2
	基幹相談支援センター連絡会	2
	権利擁護支援のための地域連携ネットワーク協議会	3
	高次脳機能障害者支援ネットワーク連絡会(講演会含む)	4
	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進連絡会議	2
	地域移行に係る意見交換会	2
	医療的ケア児等地域支援協議会	2
	高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会	1
北里大学病院との勉強会	1	

6 障害者一時ケア事業

○事業の概要

障害児・者の家族に対し、通院や冠婚葬祭のため家庭内での介護が一時的に困難な場合や、家族が日ごろの介護疲れを解消し休息とゆとり（レスパイト）を得るために、障害児・者の一時的介護を実施する。

○重点目標

- 1 事業開始当初に比べ、他の支援サービスが充実している状況の中で、障害児・者が地域での生活を継続するために必要な情報を家族へ提供するとともに、関係機関との連絡調整等を行う。
- 2 医療的ケアが必要な方を含めた他の事業所の利用が困難な利用者を受け入れ、家族のニーズに応える。

○実施結果

1 一時ケア事業

(1) 実施日時

年末年始と休館日を除く午前8時30分から午後10時まで開所した。
医療的ケアが必要な方：午前8時30分から午後6時まで開所した。

(2) 予約受付時間

年末年始と休館日を除く午前8時30分から午後10時まで予約を受付けた。
電話対応：午前8時30分から午後5時
オンライン：午前8時30分から午後10時

(3) 対象者

市内在住の障害児・者を対象とした。
(医療的ケアが必要な対象者は、事業団医療的ケア委員会において承認された者とした。)

(4) 内容

利用者の状況に合わせた個別ケアを行った。

ア 登録者の状況

単位：人

年度	登録者数	うち新規登録者数
R6	297	4
R5	304	8

イ 障害者別の登録者数

単位：人

年度	身体障害	知的障害	自閉症	重複障害	その他※	合計
R6	6	29	30	140	82	297
R5	6	64	113	121	0	304

※その他は精神障害等

ウ 医療的ケアが必要な方の利用者数 単位：人

年度	利用者数
R6	23
R5	13

エ ケアの質の向上を目的とした面談・訪問・会議への参加などの回数

年度	回数
R6	171
R5	85

オ 利用者の状況

年度	開所日数	延べ利用者数	平均利用者/日	平均利用時間/人
R6	355	933	2.6人	6時間23分
R5	356	926	2.6人	6時間13分

(ア) 休日の状況(内数)

年度	開所日数	延べ利用者数	平均利用者/日	平均利用時間/人
R6	112	765	6.8人	6時間59分
R5	113	737	6.5人	6時間52分

(イ) 医療的ケアの必要な利用者の利用状況

年度	利用実人数	延べ利用者数	医療的ケア実施回数
R6	6	23	116
R5	5	13	12

(ウ) 複数の職員で対応する場面のある利用者

年度	対象者数	延べ利用者数
R6	25	287
R5	25	289

2 サービスの質の向上

- (1) 障害児・者の地域での生活の支援を目的に、支援学校や相談支援事業所・通所先事業所等と連携して、利用者の障害特性や状況の把握、支援会議への参加、事例のフィードバックなどを行い、より良い支援方法の検討を行った。
- (2) 医療的ケアが必要な方の受け入れにあたり、利用者が安全に安心して過ごせるよう医師や関係機関と連携を図った。
- (3) 利用予約のオンラインでの受付を行い、家族の負担軽減を図った。

3 人材の確保・育成

スタッフの確保のため、様々な媒体を活用して募集した。また、スタッフの育成・スキルアップを目的に、積極的な利用者支援の情報提供、職員研修や情報紙「めぎせ！ケアの達人」等による虐待防止・人権尊重に向けた啓発を行った。

(1) 職員研修の実施

利用者の個々のニーズに合わせたケアを行うため、職員の知識や技術の向上を目的に、非常勤職員等を対象にした研修会を実施した。

年度	回数	延べ参加者数	内 容
R6	12	191	○「権利擁護・虐待防止」をテーマにしたスタッフ研修を行い、65人が参加した。 ○ケアの質の向上、情報共有等を目的とした「スタッフ懇談会」を計3回(延べ65人参加)行った。 ○コーディネーター等で共有した情報をスタッフへ伝達する「ケア会議」を計12回(延べ61人参加)行った。
R5	11	121	○「権利擁護・虐待防止」をテーマにしたスタッフ研修を行い、19人が参加した。 ○ケアの質の向上、情報共有等を目的とした「スタッフ懇談会」を計3回(延べ60人参加)行った。 ○コーディネーター等で共有した情報をスタッフへ伝達する「ケア会議」を計11回(延べ42人参加)行った。

(2) 非常勤職員向け情報誌の発行>

非常勤職員向け情報誌 『ケアの達人』を配布した。

年度	配布数
R6	52
R5	50

(3) 利用者満足度調査を実施し、得た利用者の家族の声を職員にフィードバックし、支援やモチベーションの向上を図った。

利用者満足度調査の状況

年度(実施期間)	回答数
R6(11月1日～12月27日)	39
R5(9月1日～10月31日)	52

4 関係機関との連携

(1) 障害者一時ケア事業所連絡会の実施

ネットワークの構築と市のレスパイト事業の向上、事業実施における課題の抽出や対策などを目的に情報交換や事例検討等を行った。

実施月	内 容	構成団体
11月	・各事業所の事業実施状況と課題等 ・利用者対応に関する情報交換	相模原市高齢・障害者支援課 松が丘園 一時ケア事業
2月	・各事業所の事業実施状況と課題等 ・災害時の対応等に関する情報交換	ふれあいデイホーム もみの木ホーム

7 発達障害支援センター就労支援事業

○事業の概要

発達障害者及びその家族並びに企業に対し、就労及び雇用に関する相談、指導、情報提供を行うことにより、発達障害者の就労支援及び雇用促進を図り、多様なニーズに応えていく。

なお、「障害者地域就労援助センター事業」「障害者就業・生活支援センター事業」との一体的な運営を行う。

○重点目標

若年層や障害者手帳未取得者等、これまで福祉との繋がりが希薄な発達障害者に向けて、セミナー等の開催を通じて就労支援機関に関する情報提供を強化する。

○実施結果

1 就労相談

発達障害者及びその家族、障害者雇用を検討する企業などからの相談への対応及び必要に応じた医学的（精神）、法律的な専門相談の調整

(1) 相談件数

単位：件

年度	相談件数
R6	1,803
R5	1,283

(2) 医学的（精神）、法律的な専門相談の調整

年度	医学的相談者数	法律的専門相談者数
R6	4	1
R5	4	0

2 就労促進

(1) 面談及び作業等を通じた適性の把握

ワークサンプル幕張版等のアセスメント実施時に適性の把握を行った。

(2) 職場体験実習・職場実習に関する支援

単位：件

年度	職場体験実習・職場実習件数
R6	5
R5	5

3 職場開拓

(1) 発達障害者の雇用及び職場体験実習受入等を行う企業の開拓

単位：件

年度	開拓件数
R6	17
R5	11

- (2) 発達障害者の雇用を検討する企業に対する、発達障害者の就労・雇用に関する諸制度等の情報提供

企業への巡回訪問時に諸制度等の情報提供を適宜実施した。

4 職場定着支援

- (1) 就職した企業への定期的な巡回訪問

単位：件

年度	訪問件数
R6	154
R5	140

- (2) 企業への助言援助

企業への巡回訪問時に助言援助を適宜実施した。

5 登録者支援

- (1) グループワーク（JST、職場体験実習）の実施（P40再掲）

発達障害のある方に職業的スキルの獲得を目的に「職場対人技能トレーニング（JST）」「職場体験実習」「職場体験実習振返り」をグループワークで実施した。

年度	実施回数	参加人数(延べ人数)
R6	2回	5人
R5	2回	5人

- (2) ワークサンプル幕張版、TTAP及び職業レディネステスト*1を活用したアセスメントの実施

ア ワークサンプル幕張版（作業を通して職業適性・就労能力・特性把握を行うための評価検査略称：MWS）を活用した職業評価を実施した。

年度	実施人数
R6	8
R5	8

イ TTAP（自閉症スペクトラムの移行アセスメントプロフィール）を実施した。

年度	実施人数
R6	2
R5	4

ウ 職業レディネステストを実施した。

年度	実施人数
R6	2
R5	0

- (3) 就労支援に関する情報提供

ケース検討会・発達障害支援センター支援検討会議への出席

単位：回

年度	出席回数
R6	50
R5	52

6 家族支援

発達障害児者や家族に向けた就労支援に関する情報提供、相談対応を行った。

ハローワーク相模原との共催にて3回実施。就労支援機関合同相談会では13箇所の就労支援機関がブースを設置した。

実施日	場所	内容	参加人数
11月20日	相模原市立産業会館	「発達に課題のある児童・生徒さんの職業自立のための保護者セミナー&相談会」*ハローワーク相模原主催	83
12月26日	ウェルネス相模原 7階視聴覚室	「ポジティブ就労めざして～就労準備のABC～」	55
1月28日	ウェルネス相模原 7階視聴覚室	「ポジティブ就労めざして～専門家にきいてみよう～(就労支援機関合同相談会)」	17

7 市内の就労支援事業者・学校・企業等に対する支援及び普及啓発

(1) 発達障害者の就労支援の実態把握

就労支援事業者・学校・企業への訪問時に適宜実施した。

(2) 発達障害者への理解促進と就労支援のノウハウ(JSTの技法及びアセスメント技法)について情報提供、普及啓発

実施日	場所	参加人数
3月17日	障害者支援センター多機能型事業所	2

8 関係機関等との連携

相模原市発達障害者地域支援協議会成人期部会及びその他関係機関が主催する会議等に参加した。

内 容	参加回数
発達障害者支援地域協議会 本会議	2
発達障害者支援地域協議会 成人期部会	2
雇用移行推進連絡会議	6

9 職員の資質向上

専門スキルを向上させるための各種研修会に参加した。

年度	参加回数
R6	9
R5	17

- *1 職業レディネステスト…本人の興味・自信からパーソナリティを探る、自己理解のための検査

8 障害者相談支援キーステーション事業

○事業の概要

相模原市における重層的かつ総合的な相談支援体制の中で、中圏域をカバーする相談支援の場として、障害者相談支援キーステーションの運営を行う。運営は市内に相談支援事業所を有する法人と協力し、所属法人が異なる相談支援専門員との協働による相談支援業務を行う。

○重点目標

緑・南障害者相談支援キーステーションや基幹相談支援センター等と連携しながら、新たに設置する中央障害者相談支援キーステーションにおける官民協働による相談支援を推進し、相談支援体制の強化を図る。

○実施結果

1 中央障害者相談支援キーステーション

中央区に新たに設置した中央障害者相談支援キーステーションの運営を行うとともに、他法人から配置された相談支援専門員や行政との協働による相談支援を行った。

2 相談支援

ワンストップ総合相談窓口として、障害種別に関わらず各種ニーズに対して、アウトリーチ^{*1}も含めた相談支援を行った。また、成年後見制度の一般的な相談窓口として必要な情報提供を行うとともに関係機関につなげる役割を担った。

単位：人

年度	内 容	緑	中央	南
R6	総相談者数	1,508	890	1,503

3 相談支援の質の向上

困難事例を含む基本相談に対応し、官民協働、民民連携によるチーム支援を通して相談支援のスキルアップを図った。

(1) 相談支援の標準化

標準的な相談支援の実現に向け、相談支援専門員合議でのインテーク体制、官民協働でのケース会議等の取組を行った。また、区内の相談支援力向上を目的に、相談支援事業所に対して、支援方法の検討や助言などの支援を行った。

単位：回

年度	内 容	緑	中央	南
R6	官民協働でのケース検討	25	49	47
	相談支援事業所への支援	34	48	23
R5	官民協働でのケース検討	39	—	42
	相談支援事業所への支援	41	—	25

(2) 相談支援技術向上研修

相談支援技術の向上を図るため、面接トレーニングや事例検討を行った。また、地域のリーダー的な役割を目指し、相談支援専門員向け研修の補助的な役割を担った。

単位：回

年度	内 容	緑	中央	南
R6	面接トレーニング	1	2	1
R5	面接トレーニング	3	—	3

相談支援専門員向け研修補助

年度	内 容	コース数	派遣人数
R6	相談支援従事者初任者研修 演習指導	2コース	4名
	相談支援従事者現任研修 演習指導	2コース	2名

(3) 専門相談

法律的な視点が必要な相談等に対応するため、弁護士等と連携した専門相談等を行った。

単位：件

年度	内 容	緑	中央	南
R6	弁護士相談	0	1	4
R5	弁護士相談	1	—	1

4 ソーシャルワークの展開

(1) グループスーパービジョン

福祉の枠組みだけではない新たな支援方法や地域課題の抽出等を目指しオンラインも活用したグループスーパービジョンを行った。

単位：回

年度	内 容	緑	中央	南
R6	グループスーパービジョン	12	12	12
R5	グループスーパービジョン	12	—	12

(2) チーム支援

障害分野の関係機関だけでなく、高齢者の支援機関、社会福祉協議会、教育機関など多職種連携によるチーム支援を行うとともに、関係構築の一環として会議等に参加した。

内 容	参加回数	地区
民生委員児童委員協議会定例会（津久井、藤野、大沢、城山、相模湖）	5	緑
橋本地区民生委員児童委員向け研修（講師派遣）	1	緑
緑区支援会議	3	緑
緑区地域精神障がい者支援ネットワーク会議	1	緑
相原地域包括支援センター主催「福祉のつどい」（打合せ含む）	3	緑
福祉カーニバルin橋本実行委員会	10	緑
緑区社会福祉協議会コミュニティソーシャルワーカーグループスーパービジョン	1	緑
民生委員児童委員協議会定例会 （小山、清新、中央、星が丘、光が丘、大野北第1、大野北第2、田名、上溝）	9	中央
地域包括支援センター・居宅介護支援事業所勉強会 （上溝、中央、清新、田名、星が丘）	5	中央
中央区社会福祉協議会コミュニティソーシャルワーカーグループスーパービジョン	9	中央
中央区地域精神障がい者支援ネットワーク会議	2	中央
精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進連絡会	3	中央

精神保健事例検討会	1	中央
中央支援学校意見交換会	1	中央
南区社会福祉協議会コミュニティソーシャルワーカーグループスーパービジョン	8	南
東林地区地域ケア会議地域づくり部会	4	南
精神障害者支援機関ネットワーク会議	2	南
精神障害者地域生活支援ネットワーク会議	2	南
精神保健事例検討会	1	南
居住支援ワーキング	1	緑・中央
重症心身障害児者ネットワーク会議	4	全
医療的ケア児等地域支援協議会	2	全
県・政令市医療的ケア児等コーディネーター連絡会議	2	全

5 医療的ケア児等に対する支援

(1) 医療的ケア児等コーディネーターの配置

障害福祉・医療・保健・保育・教育等の関係機関にまたがる支援の利用を調整し、総合的かつ包括的な支援の提供につなげる医療的ケア児等コーディネーターを配置し、医療的ケア児とその家族が安心して豊かな生活をおくることができるよう支援した。

年度	内 容	緑	中央	南
R6	総相談者数	47	70	68

(2) かながわ医療的ケア児支援センター

かながわ医療的ケア児支援センターの相模原市事務局として、広域的な支援体制の構築及び連絡調整や神奈川県内の医療的ケア児等コーディネーターへの支援を行った。

年度	内 容	回数	派遣人数
R6	県・政令市医療的ケア児等コーディネーター連絡会議(*)	2	5
	医療的ケア児等コーディネーター養成研修講師派遣	2	1
	医療的ケア児等コーディネーター養成研修インターバル対応	5	11
	医療的ケア児等コーディネーター・フォローアップ研修	1	2

(*) 4 (2) 再掲

* 1 アウトリーチ…支援が必要な人に、必要なサービスや情報を届けるため、さまざまな形で積極的
に出向いて働きかけること

9 けやき体育館

(1) けやき体育館管理・運営事業

○事業の概要

体育室、機能訓練室、教養室、和室、教室の各室を、障害者団体の優先利用を基本原則として貸出を行う。貸出に当たっては、障害のある人が自主的かつ積極的にスポーツやレクリエーション活動が楽しめるよう支援する。

また、けやきカフェを運営することにより、施設利用者の利便性向上を図るとともに、就労を目指す障害のある人の体験実習の場として社会参加を支援する。

○重点目標

SNSやホームページの活用による施設や事業のPRと体育室や機能訓練室の個人利用の充実等により、けやき体育館の利用者増を図る。

○実施結果

1 利用する団体等が適切に施設の利用が出来るよう、施設の維持補修・備品管理を行った。

(1) 施設・設備の修繕を適切に行い、利用者の安全確保及び施設の長寿命化を図った。

修繕内容	委託業者	作業日
スポーツマンゴムケーブル修繕	セノー(株)	4/9
避難用滑り台インターロッキング修繕	小林住設(株)	6/24
外灯・誘導鈴用タイムスイッチ修繕	(株)宝月堂	6/27
屋上冷却塔整備工事修繕	空研工業(株)(けやき会館按分)	7/30
地下冷却水ポンプ水漏れ修繕	(株)野崎工業所(けやき会館按分)	8/25
昇降機センサー(地震時運転装置)修繕	三菱電機ビルソリューションズ(株)(けやき会館按分)	9/27
男子更衣室・2階廊下FCU水漏れ修繕	穂久斗工業(株)	10/23
2階教室扉(ハンガー戸)修繕	小林住設(株)	12/20
体育室埋込コンセント修繕	わきざき電脳サービス(株)	12/26
1階事務室水栓取替・電気温水器撤去修繕	(株)野崎工業所	3/3
1階ロビー煙感知器移設修繕	(株)河本総合防災	3/14
体育室分電盤扉修繕	小林住設(株)	3/14
トイレ紙巻器交換修繕	小林住設(株)	3/14
ピアノ鍵盤蓋修繕	(株)牛久保	3/19
入口案内板撤去修繕	(有)ミヤタ工芸	3/24
トイレ表示修繕	(有)ミヤタ工芸	3/24

(2) 施設の機能を維持するために、適正な業務委託と保守点検を行った。

業務委託項目(委託業者)	内容	実施日
総合管理業務(相模トライアム(株))	毎日の日常清掃及び定期清掃(床年2回、ガラス年3回、網戸年1回、年末特別清掃)、環境衛生管理業務(年6回)、機械操作管理業務(休館日を除く全日)	年末年始休館日を除く全日

機械警備(相模警備保障株)	火災、盗難及びガス漏れ事故防止、 不良行為の拡大防止のため (開館日)22:30~翌日8:30 (休館日)8:30~翌日 8:30	全日
廃棄物収集運搬(株)清和サービス)	一般廃棄物収集運搬業務	毎週月・木
消防用設備保守点検 (株)河本総合防災)	消火器具、自動火災報知設備等の 保守点検(年2回)※業者による法 定点検の他、自主点検を行った。	法定点検 8/21、2/12 自主点検
体育器具保守点検(セノー株)	体育器具保守点検(年1回) ※体育室天井改修工事で利用停止 のため1回のみとした。	12/18
自動ドア保守点検業務 (株)神奈川ナブコ)	自動ドアの保守点検(年4回)	5/29、8/28、 11/27、2/26
樹木剪定業務(株)井上農園)	敷地内樹木剪定(低木年1回、中高 木年1回)	低木6/6 中高木11/27
建築設備定期点検(さがみビルメン テナンス協同組合)	法定点検による建築設備点検	11/29
防火設備定期点検 (株)河本総合防災)	法定点検による防火設備点検(防火 扉)	2/12
陶芸窯保守点検(株)柳北信陶園)	教室陶芸窯保守点検	2/12
ピアノ保守点検(株)牛久保)	教養室ピアノ保守点検	2/14
体育室床ワックス清掃(セノー株)	体育室床のワックス清掃(1回)	12/18
自家用電気工作物保守点検(原田 電気管理事務所)※	受電設備、秘伝設備等の保守点検 (月次点検年6回 年次点検年1回)	年次点検3/1
冷暖房機器保守点検 (三菱重工冷熱株)※	冷暖房設備の保守点検(年4回)	5/11、9/10 11/8、1/14
中央監視盤保守点検(三菱電機プ ラントエンジニアリング株)※	中央監視設備の全機器の保守点検 (年2回)	9/3、4 3/1
ポンプ送風機保守点検 (株)野崎工業所)※	ポンプ送風機の保守点検(年1回)	11/6
空調システム保守点検 (日本電技株)※	ファンコイル等の点検	7/25、26 12/16、17
非常電源保守点検 (株)河本総合防災)※	非常用電源の保守(年1回)	2/7
昇降機保守点検(三菱電機ビルソリ ューションズ株)※	昇降機保守点検(月1回)	毎月実施

※印は、公益財団法人相模原市まち・みどり公社と共同で管理する施設・設備等

- 2 利用申請の受付、承認等は職員2名以上を配置、2交代勤務として引継ぎ業務は全職員で行った。施設貸出に当たっては、利用者が快適に活動できるよう、準備や点検等を行った。また、体育室特定天井改修工事の影響による体育室利用停止については、利用団体等への適切な案内等を行い、工事期間は他室の利用団体や来館者の安全を考慮し、円滑に工事が行われるよう、対応をした。(体育室特定天井改修工事における体育室利用停止期間 6/7~12/20)

(1) 利用回数・利用率

		体育室	機能訓練室	教養室	和室	教室	合計
R6	利用回数	397	613	704	342	659	2,715
	(うち減免利用)	(304.5)	(347)	(517)	(186)	(460)	(1814.5)
	利用率	87.4%	63.2%	66.3%	32.1%	62.0%	58.8%
R5	利用回数	930	673	737	369	472	3,181
	(うち減免利用)	(744)	(427)	(505)	(235)	(318)	(2,229)
	利用率	87.1%	63.0%	69.0%	34.6%	44.2%	59.6%

(2) 利用延べ人数

		体育室	機能訓練室	教養室	和室	教室	合計
R6	利用人数(延べ)	9,976	5,833	8,334	3,134	9,354	36,631
	(うち障害者)	(3,629)	(2,135)	(3,182)	(688)	(4,452)	(14,086)
R5	利用人数(延べ)	22,635	5,723	8,492	3,253	6,860	46,963
	(うち障害者)	(8,880)	(2,017)	(2,873)	(846)	(2,163)	(16,779)

(3) けやき会館との合同防災訓練を実施した。また、不審者対応研修を実施した。

ア 第1回総合防災訓練

①実施日 9月5日(木)

②訓練内容 大規模地震発生及び地震発生に伴う火災想定。避難誘導、伝達・通報、及び消火器等操作訓練。

イ 第2回総合防災訓練

①実施日 12月5日(木)

②訓練内容 屋内消火栓及び消火器の設置場所、初期消火の手順についての確認。避難経路及び出火場所による避難経路の選定方法の確認

ウ 第3回総合防災訓練

①実施日 2月10日(月)

②訓練内容 水消火器を使用した消火訓練及び避難訓練(避難経路の確認、出火場所ごとによる避難経路の確認)

エ 「施設等における不審者対策」講習会

①実施日 9月5日(木)

②内容 相模原市の防犯交通安全指導員による不審者への対策、犯罪にあわないための知識や施設における防犯活動についての講習会

- 3 個人利用に新たにバスケットボールの種目を1月から増やした。また、利用予約のない時間帯を活用した日程設定により個人利用日を増やし、利用者増を図った。

内容	体育室					機能訓練室					合計
	回数	大人		小人		回数	大人		小人		
		障害者	その他	障害者	その他		障害者	その他	障害者	その他	
バドミントン	20	2	30	0	4	—	—	—	—	—	36
卓球	15	5	34	0	10	95	5	133	0	12	199
バスケットボール	11	2	5	0	12	—	—	—	—	—	19
合計	46	9	69	0	26	—	5	133	0	12	254

- 4 SNS、ホームページを活用した施設の案内、事業のPRを行った。

公式X投稿数 419件

- 5 けやきカフェの運営

- (1) 施設利用者の利便性向上のため、けやきカフェを運営した。松が丘園で作られたパンを使用したメニューを提供し、パン、クッキーの販売を行った。

ア 営業日：月曜日から金曜日まで。障害者余暇活動支援事業イベント開催時の土日祝臨時営業。

イ 営業時間：午前11時30分から午後2時30分まで

ウ 売上等

年度	営業日数	売上	一日平均売上
R6	247	4,072,820円	16,489円
R5	247	3,952,130円	16,001円

- (2) 地域における公益的な取組として地域の方がほっとできるような居場所や交流の場「みんなのけやきカフェ」を実施し、同日開催イベント「けやき☆ひろば」の案内を行った。

実施日	参加者数			内容
	子ども	大人	合計	
5月11日	9	35	44	カレーの提供、参加者同士の交流の場
3月20日	5	22	27	カレーの提供、参加者同士の交流の場

- 6 障害者支援センター松が丘園との連携

- (1) インターンシップ（ビルメンテナンス）の実施

不特定多数の人が利用するけやき体育館の環境を活かし、障害者支援センター多機能型事業所（自立訓練事業）利用者によるインターンシップを実施した。

年度	日数	人数
R6	6	3
R5	12	6

(2) 就労体験実習の実施

一般就労をめざす地域就労援助センターの登録者に、けやきカフェの開店前準備・接客業務の他、新たに、施設貸出業務、施設点検、事務作業を加え実習内容の充実を図った。

年度	けやきカフェ		施設管理・貸出業務	
	日数	人数	日数	人数
R6	23	5	16	4
R5	49	11	—	—

(3) 就労相談窓口「障害者地域就労援助・けやき相談センター」の運営に協力した。

(4) 求人情報の提供

地域障害者施設支援事業と連携して、市内障害福祉サービス事業所等の「就職情報コーナー」を運営した。

9 けやき体育館

(2) 障害者余暇活動支援事業

○事業の概要

障害のある人がスポーツや教養文化活動により、地域で楽しく豊かな生活を送れるよう、各種講座の実施、パラスポーツ大会の支援やスポーツ指導体制の充実を図る。また、障害についての理解促進のために地域共生イベントや、パラスポーツ普及啓発のため、関係機関と連携した体験会やイベント等を実施する。

○重点目標

- 1 相模原市、相模原市スポーツ協会等と協力し、パラスポーツの普及啓発と文化的レクリエーション事業の充実を図る。
- 2 地域、学校へのパラスポーツ出前講座の実施やSDGsパートナー企業等との連携したイベントの開催により、地域交流の充実及び障害についての理解促進を図る。

○実施結果

1 パラスポーツの普及・振興事業

(1) パラスポーツの定着に向けた事業

相模原市のスポーツ推進事業や相模原市スポーツ協会等と連携したパラスポーツ普及イベントへの協力、また、パラスポーツ大会を主催した。

ア パラスポーツ大会の実施

東京2020パラリンピック競技大会の正式種目であるボッチャ競技の大会を開催した。開催に当たっては、障害の有無にかかわらず、誰もが参加できることとし、地域の方と一緒に楽しく交流できる場とした。

内 容	実施日	参加チーム数
第5回ボッチャ大会～けやき杯～	1月26日(日)	16

イ さがみはら“ゆめ”プロジェクト実行委員会

内 容	実施日
第5回さがみはら“ゆめ”プロジェクト ～みんなで一緒にパラスポーツ体験！～	11月23日(土)
市制施行70周年記念 第6回さがみはら“ゆめ”プロジェクト ～いろんなパラテニスを知ろう！やってみよう！～	2月16日(日)

ウ 共にささえあい生きる社会パラスポーツ普及啓発実行委員会

内 容	実施日
パラスポーツ体験会 with みんなでチャレンジ！わくわくスポーツフェア2024	9月23日(月)

エ 相模原市スポーツ協会と連携したパラスポーツ体験の実施

内 容	実施日
桜まつり会場でのボッチャ体験(スポーツ協会出展ブースにて実施)	4月6日(土)
つくい湖湖上祭会場でのボッチャ体験(スポーツ協会出展ブースにて実施)	11月17日(日)

オ ふらっとポッチャ in アリオ橋本の実施

内 容	実施日
ポッチャ体験会(市高齢・障害者支援課が毎週火曜日に実施している「いきいき百歳体操 かがやき橋本」の開催日に合わせて実施)	第1火曜日 (9月から3月)

(2) パラスポーツ体験会の実施

単位:人

内 容	実施回数	参加者	ボランティア	合計
ポッチャ体験会 ※けやきウィークに開催 (相模原市体育館で開催)	1	10	6	16
車いすバスケットボール応援イベント SAGAMI FORCE*壮行会&ミニ体験会	1	2	17	19
ポッチャ練習会(大会前の練習会)	5	49	2	51
合 計	7	61	25	86

* けやき体育館を利用している車いすバスケットボール天皇杯2年連続出場チーム

(3) 他団体主催のパラスポーツイベント等へのスポーツ指導員を派遣

内 容	実施日
社会福祉法人相模原市身体障害者連合会 さがみはらスポーツフェスティバル(フライングディスク体験指導補助)	10月14日(月)
公益社団法人相模原青年会議所 共生社会推進フェスタ ~ともに輝く未来~ (ブラインドサッカー体験講師)	3月16日(日)
新磯地区社会福祉協議会(ブラインドサッカー体験講師)	3月27日(木)

(4) 障害の理解・普及等を目的としたパラスポーツ用具貸出事業について、市と協議を行うなど、令和7年度からの実施に向けた準備を行った。

2 スポーツ及び文化活動の支援事業

(1) スポーツ講座・ふれあい文化講座の実施

障害のある人の健康増進、心身機能の維持・向上、パラスポーツ大会および教養文化的な活動への参加促進を目的に各種講座を行った。なお、一部講座は、体育室の特定天井改修工事期間、他施設で開催した。

ア 障害者スポーツ講座

単位:人

内 容	実施回数	障害者	ボランティア	付添い	合計
楽しく♪健康体操 (あじさい会館で実施)	3	23	5	9	37
元気にパワーアップ体操 Part1 (あじさい会館で実施)	3	37	2	19	58
楽しく♪フラダンス	3	17	4	4	25
Enjoy☆フィットネスダンス! (産業会館で実施)	3	40	0	8	48
元気にパワーアップ体操Part2	3	71	1	34	106
免疫力アップ↑元気に健康アップ体操 (対面および Zoom によるオンライン講座)	3	対面44 オンライン 3	3	20	70

楽しく運動しよう♪	1	3	2	0	5
合 計	19	238	17	94	349

※重症心身障害児対象の「楽しく体を動かそう音符」は申込者がいなかったため中止

イ 障害者ふれあい文化講座

内 容	実施回数	障害者	ボランティア	付添い	合計
おいしいお菓子を作ろう♪	1	16	2	3	21
おいしい野菜を食べよう♪	2	21	4	4	29
じっさいさんのパフォーマンス講座	2	39	4	17	60
おしゃれを楽しもう♪	1	16	1	6	23
楽しく♪音楽&リズム	3	34	0	13	47
みんなで歌おう♪	2	22	4	8	34
合 計	11	148	15	51	214

(2) オンライン配信を活用した講座の実施

自宅や事業所からでも参加できるようZ o o mによるオンライン講座を対面講座との同時進行で開催した。(再掲)

単位:人

内 容	実施回数	障害者	ボランティア	付添い	合計
免疫力アップ↑元気に健康アップ体操 (対面およびZoomによるオンライン講座)	3	対面 44 オンライン 3	3	20	70

(3) スポーツ指導体制の整備

障害のある人がスポーツを安全に楽しめるよう、「パラスポーツ指導員」資格取得者による企画・運営を行った。また、事業実施に当たっては、地域の有資格者と連携して行った。

(4) 文化活動の推進

障害のある方がその人らしい表現に取り組める文化活動として、季節の作品を募集し、けやき体育館ロビーに展示した。

内 容	作品募集期間	展示期間
イロトリドリ春を探しに出かけよう	4/1~5/15	4/1~5/31
夏の暑さを吹き飛ばそう! ひんやりCOOLな作品募集	6/1~9/15	6/1~9/30
〇〇な秋みつけた!	10/1~11/20	10/1~11/30
寒い冬もぽっかぽか ほっこり冬作品募集	12/15~2/15	12/15~2/28

(5) ハンドサインぬり絵展示

毎月異なるハンドサインのぬり絵を配布し、参加者が各自で塗った作品を体育館ロビーに展示した。実施に当たっては、誰でも参加できる企画とし、ハンドサインをテーマとすることで、楽しみながら障害者や障害に関する理解促進を図った。

単位：人

テーマ	参加者
4月:よろしくおねがいします 5月:たのしい 6月:いっしょ 7月:あそぶ 8月:がんばれ 9月:おめでとう 10月:おいしい 11月:かわいい 12月:おつかれさま 1月:しあわせ	244

3 余暇活動支援事業

(1) 余暇サークルの支援

パラスポーツ、文化活動の自主サークルの運営や新規サークルの立ち上げ等の支援及び育成講座等を通じて結成されたサークルに対し、コーディネート、自主化等の支援を実施した。

対象サークル	実施回数	延べ参加者数	
		障害者	ボランティア
手芸サークル あむあむ	12	23	12
ボウリングサークル ターキーズ	11	36	11
バスケットサークル 松が丘 BULLS	6	59	7
サッカーサークル 相模原 FC 松が丘	19	168	36
料理サークル MANGER	1	3	1
合 計	49	289	67

(2) 地域交流イベント等の実施

障害の有無にかかわらず誰もが参加できるイベントや、障害者週間に合わせた「けやきウィーク」を開催した。また、地域や学校においてパラスポーツ体験を実施した。

ア けやきウィーク

パラスポーツの普及啓発、障害及び障害のある人への理解・啓発を目的に、障害者週間（12/3～12/9）に合わせ、パラスポーツ体験会や創作体験などのイベントを実施した。開催に当たっては、近隣小学校（富士見小学校6年4組）と連携したイベントを実施した他、けやき体育館利用団体や地域活動団体、企業に協力を依頼した。

内 容	実施日	参加者
ふらっとボッチャ in アリオ橋本 ※再掲	12月3日(火)	24
ふらっとボッチャ	12月4日(水)	18
ふらっとフライングディスク	12月5日(木)	3
ふらっと手話ダンス	12月6日(金)	4
ボッチャ体験会(相模原市体育館で実施) ※再掲	12月7日(土)	10
富士見小学校6年4組×一般社団法人さがみ湖 森・モノづくり 研究所MORIMO×けやき体育館 クリスマスツリー点灯式 (相模原市制施行70周年のお祝いメッセージを書いた木のオー ナメントを飾ったツリーの点灯式。ツリーは12月2日から25日 まで展示)	12月8日(日) ※オーナメント制作 は12月3日から 25日まで	-
ふらっとアート特別編 (オーナメントづくり) ※きままシリーズのうちの1回	12月8日(日)	9
ふらっとサウンドテーブルテニス	12月9日(月)	1

イ 地域、学校へのパラスポーツ出前講座

内 容	実施日
富士見小学校「ワイワイまつり」（フライングディスク体験）	11月23日(土)
ふらっとポッチャ in アリオ橋本（ポッチャ体験）※再掲	9月より毎月第1火曜日

ウ 企業との連携イベント

さがみはらSDGsパートナー企業等と連携したイベントを実施した。

内 容	実施日
アリオ橋本 SDGs フェス ポッチャ体験ブース出展 (相模原 SDGs パートナーとして実施)	6月1日(土)
科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー～お魚ロボット～ ※トヨタ自動車株式会社共催(トヨタ技術会 協力)	8月24日(土)
ふらっとポッチャ in アリオ橋本 (高齢・障害者支援課がアリオ橋本で実施している「いきいき百歳体操 かがやき橋本」開催日に合わせ、ポッチャ体験会を実施 ※再掲)	毎月火曜日 (9月～3月)
富士見小学校 6年4組×一般社団法人さがみ湖 森・モノづくり研究所 MORIMO×けやき体育館 クリスマスツリー点灯式 (相模原市制施行70周年のお祝いメッセージを書いた木のオーナメントを飾ったツリーの点灯式。ツリーは12月2日から25日まで展示) ※再掲	12月8日(日) ※オーナメント制作は12月3日から25日まで

エ 交流イベント

内 容	実施日	障害者	その他	ボランティア	合計
けやき☆ひろば ※地域における公益的な取組「みんなのけやきカフェ」同時開催	5月11日(土)	17	33	3	53
	3月20日(木・祝)	9	12	8	29
科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー～お魚ロボット～ ※トヨタ自動車株式会社共催 (トヨタ技術会協力) ※再掲	8月24日(土)	10	13	2	25
何でもの発表会♪	3月7日(金)	7	15	1	23
合計	4日間	43	73	14	130

(3) きままシリーズの実施

障害のある人を対象に、事前の予約なしで気軽に参加できるスポーツ、教養文化的なイベントを実施した。一部は障害の理解促進、パラスポーツの普及啓発を図るため、障害のあるなしに関わらず、誰もが参加できる交流事業として実施した。実施に当たっては、ボランティアの受け入れや、けやき体育館利用団体や地域活動団体に協力を依頼する等、地域との連携を図った。

内 容	実施回数	障害者	ボランティア	付添い他	合計
きままに卓球&バドミントン	7	133	39	18	190
きままに卓球デイ	5	50	25	2	77

きままに卓球&バドミントン<夜間>	6	39	16	18	73
きままに卓球デイ<夜間>	6	14	9	17	40
きままに将棋デイ	12	40	24	5	69
ふらっとアート ※けやきウィークでの開催 1回あり	12	36	0	48	84
きままにカローリング&ボッチャ	6	109	53	78	240
きままにボッチャ	6	20	7	22	49
きままにスポーツ	5	63	21	23	107
合計	65	504	194	231	929

(4) バスレクリエーションの実施

相模原市が実施する銀河連邦サガミハラ共和国とサク共和国（長野県佐久市）の障害者交流事業として、外出することが難しい又は外出機会の少ない障害のある人を対象に、バスを使用した日帰りレクリエーションを実施した。なお、募集に当たっては、共生社会の実現への取組として、地域の小学生も対象とし、交流事業としての実施とした。

実施日	内容	参加者
11月2日(土)	りんご狩り(長野県佐久市)	38組 76名(うち障害者 37名)

(5) 余暇の相談支援

障害のある人一人ひとりの多様なニーズに応じた余暇を推進するため、講座、イベント、サークルなど様々な相談に対応した。

(6) ボランティア育成

ボランティアセンターや地域と連携し、事業の協力を通じてボランティアの育成を行う。また、ボランティアの継続に向けた意見交換会を実施した。

ア ボランティア登録者数（3月末現在）

年度	登録ボランティア者数
R6	46名(うち新規登録者数 4名)
R5	43 名(うち新規登録者数 1名)

イ ボランティア交流会の実施

実施日	参加者数
6月23日(日)	6名
3月20日(木)	8名

(7) 情報発信

けやき体育館通信やホームページ、SNS、まちのコインを活用し、主催イベント、講座等のお知らせや報告、利用団体等の情報を提供した。

ア けやき体育館通信発行	6回
イ 公式X投稿回数	419回
ウ まちのコイン体験回数	64回

※ 「まちのコイン」とは、地域のつながりの形成を目的に開発されたコミュニティ通貨（地域通貨アプリサービスで、相模原のコインは「すもー」で相模原市が運営している。

4 障害者支援センター松が丘園との連携

(1) 障害者地域就労援助センターと連携イベントの実施

障害者地域就労援助センター登録者を対象とした集いの場「さんさんサロン」開催日に実施した。

内 容	実施日
押し活サロン（テーマ:おうちで楽しめる趣味活動）	6月16日(日)
押し活サロン（テーマ:スポーツ）	8月18日(日)
押し活サロン（テーマ:グルメ）	11月17日(日)
きままに卓球&バドミントン ※再掲	2月16日(日)

(2) 余暇活動の理解促進と支援者養成を目的とした研修の実施

地域障害者施設支援事業・福祉研修センターと連携して、障害のある方の余暇活動参加への理解、支援者の養成を目的にレクリエーション支援研修を開催した。

実施日	参加者数
3月26日(水)	18名

社会福祉法人 相模原市社会福祉事業団 令和6年度 福祉研修センター 研修実施報告

【障害福祉サービス事業所等職員対象】

区分	研修名	講師		実施日時	実施方法	参加者数			
		所属等	氏名						
入門コース	入門	N1	福祉の仕事のルーツを知ろう 支援者の価値観と倫理観 対人支援の専門性とは 障害の理解と障害者を支える思想 障害福祉制度と地域生活支援	田園調布学園大学	松本 葉子 氏	6月4日(水)午後2時30分から午後5時まで	対面研修	28	
						8月5日(月)午後2時30分から午後5時まで	対面研修	32	
						9月2日(月)午後2時30分から午後5時まで	対面研修	33	
						11月19日(水)午後2時30分から午後5時まで	対面研修	28	
						1月15日(水)午後2時30分から午後5時まで	対面研修	28	
障害福祉基礎研修	基礎Ⅰ	A1	自閉スペクトラム症や神経発達症(発達障害)のある子どもと共に育	鶴見大学短期大学部	河合 高純 氏	基礎	4月26日(金)午前10時から正午まで	対面研修	30
		A2	利用者と一緒に過ごす就労とは	障害者支援センター多機能型事業所	渋谷 美紀氏 利用者の皆様5名	基礎	7月2日(火)午前10時から正午まで	対面研修	32
		A3	障害福祉制度の基礎	桜美林大学	谷内 孝行 氏	基礎	6月11日(水)午後3時から午後5時まで	対面研修	39
		A4	相模原市の障害福祉制度	相模原市緑高齢・障害者相談課	大石 晋平 氏	基礎	9月9日(月)午後3時から午後5時まで	対面研修	33
		A5	インクルーシブな社会とは	日本社会福祉事業大学 名誉教授	古屋 龍太 氏	基礎	2月7日(金)午後3時から午後5時まで	対面研修	25
		A6	最新の障害福祉の動向	全国手をつなぐ育成会	又村 あおい 氏	基礎	1月19日(日)午前10時から正午まで	対面研修	41
		A7	サービス等利用計画と個別支援計画の関係	いそご地域活動ホーム いがさ	渡邊 史朗 氏	基礎	9月20日(金)午前10時から正午まで	対面研修	42
		A8	障害者虐待防止・権利擁護研修①	法政大学	佐藤 蘭美 氏	基礎	10月25日(金)午後2時30分から午後4時30分まで	対面研修	24
			障害者虐待防止・権利擁護研修②	さがみはらカウンセリングルーム	中村 咲綾 氏	基礎	11月5日(火)午後2時30分から午後4時30分まで	対面研修	27
	障害者虐待防止・権利擁護研修③		社会福祉法人ワズ町田	小野 浩 氏	基礎	11月18日(月)午後2時30分から午後4時30分まで	対面研修	28	
	基礎Ⅱ	A9	障害者虐待防止・権利擁護研修④	田園調布学園大学 障害者学生支援室	海老沢 祐次 氏	基礎	12月19日(木)午後2時30分から午後4時30分まで	対面研修	37
		B1	精神保健福祉の歴史	東海大学	中越 暲乃 氏	基礎	2月18日(火)午後3時から午後5時まで	対面研修	28
		B2	気持ちに寄り添う面接とは	みやぎ心のケアセンター	片柳 光昭 氏	基礎	6月7日(金)午後2時から午後5時まで	対面研修	48
		B3	記録について学ぼう！	日本福祉大学	保正 友子 氏	基礎	8月19日(月)午後3時から午後5時まで	対面研修	50
		B4	対人援助とは	日本福祉大学	保正 友子 氏	基礎	7月12日(金)午後3時から午後5時まで	対面研修	36
		B5	エンパワメント・ストレス研修	相模原市社会福祉事業団	小林 麻衣子 氏	基礎	10月7日(月)午前10時から正午まで	対面研修	28
		B6	相模原市障害福祉の歴史	田園調布学園大学	隅河内 司 氏	基礎	10月9日(水)午後3時から午後5時まで	対面研修	15
		B7	自閉スペクトラム症の支援を考える	相模原市社会福祉事業団	長沢 伸孝 氏	基礎	1月31日(金)午前9時30分から正午まで 2月21日(木)午前9時30分から正午まで	対面研修	38 37
		B8	コミュニティソーシャルワーク	田園調布学園大学	隅河内 司 氏	基礎	8月6日(火)午後3時から午後5時まで	対面研修	15
B9		話し方研修	慈恵第三看護学校非常勤講師 高津看護学校非常勤講師	井上 隆 氏	基礎	9月3日(火)午後2時30分から午後5時まで	対面研修	31	
支援技術向上研修(相談)	C1	はじめて学ぶ 強度行動障害	相模原市社会福祉事業団	峯村 深 氏 大関 香織 氏	基礎	3月19日(火)午後5時から午後7時30分まで	対面研修	32	
	C2	精神障害のある方の働くをささえる支援	なでしこメンタルクリニック院長	白石 弘弘 氏	応用	12月6日(金)午後3時から午後5時まで	オンライン	17	
	C3	相模原市の相談支援体制と障害者自立支援協議会	相模原市社会福祉事業団	小林 麻衣子 氏 北澤 和美 氏	応用	8月23日(金)午後2時から午後4時30分まで	対面研修	30	
	C4	知的障害者の意思決定支援	相模原市社会福祉事業団	小林 麻衣子 氏	応用	7月31日(水)午後3時から午後5時まで	対面研修	21	
	C5	より良い部門 職場づくり	田園調布学園大学	松本 葉子 氏	応用	10月8日(火)午後2時から午後5時まで	対面研修	24	
	C6	ソーシャルワークアプローチ研修	相模原市社会福祉事業団	小林 麻衣子 氏 北澤 和美 氏	応用	12月10日(火)午後2時から午後5時まで	対面研修	24	
	C7	面接トレーニング	相模原市社会福祉事業団	小林 麻衣子 氏 北澤 和美 氏	応用	9月25日(水)午前1時から午後4時30分まで 1月10日(金)午後1時30分から午後5時まで	対面研修	4 4	
	C8	キーステーションと市社協CSWによるインフォーマルな社会資源を活用した支援の実践報告	田園調布学園大学	隅河内 司 氏	応用	2月14日(金)午後1時30分から午後4時まで	対面研修	44	
	D1	重症心身障害児(者)の「こころ良さ」を目指して「身体メカニズムと介助法」を学ぶ	相模原療育園	樋口 滋 氏	応用	9月10日(火)午後6時から午後8時まで 10月10日(水)午後6時から午後8時まで	対面研修	24 22	
	D2	摂食研修-基礎編1 嚥下機能の基本 摂食研修-基礎編2 摂食の助法 摂食研修-応用編 重症心身障害児者の食べ方、口唇内観察、 ケアの方法について	昭和大学歯学部	渡邊 賢礼 氏 内海 明美 氏	応用	10月12日(水)午後6時から午後8時まで 10月16日(水)午後6時から午後8時まで	オンライン	30 26	
D3	「てんかんを学ぼう」	相模原療育園	石崎 晶子 氏	応用	11月7日(水)午後6時から午後8時まで	対面研修	27		
D4	「消化管のはなし」～胃ろう・消化・栄養・排泄について	相模原療育園	細田 のぞみ 氏	応用	10月12日(土)午後2時から午後4時まで	対面研修	15		
D5	「消化管のはなし」～胃ろう・消化・栄養・排泄について	相模原療育園	武田 憲子 氏	応用	12月7日(土)午後2時から午後4時まで	対面研修	10		
工賃アップセミナー	E1	工賃アップにおける報酬改定の方向性と障害者の自立について	全国手をつなぐ育成会	又村 あおい 氏	応用	5月29日(水)午前10時から正午まで	対面研修	26	
	E2	マニュアル化する際のメリットとは～具体的な成功事例から学ぶ～	社会福祉法人らっく	鈴木 拓也 氏	応用	9月19日(木)午後3時から午後5時まで	対面研修	19	
	E3	「受注調整窓口」について知っていますか？～相模原市における農福連携～	農業従事者	金澤 信義 氏 井上 敦 氏	応用	1月16日(木)午後6時から午後7時30分まで 11月18日(月)午後3時から午後5時まで	対面研修	24 20	
	E4	売れる自主製品の開発へのはじめてのステップを踏み出す 自主製品の開発を考える 商品開発ワークショップ	(株)でかみはら産業創造センター(株)イノウエ (株)でかみはら産業創造センター(株)イノウエ	金澤 信義 氏 井上 理恵 氏	応用	11月29日(金)午後3時から午後5時まで	対面研修	11	
	E5	皆さん、働くモチベーションどうしていますか？	ふじのタンポポ	綱田 富士恵 氏	応用	3月6日(水)午後4時30分から午後6時30分まで	対面研修	16	
テーマ別研修	F1	知的障害のある人の語りを聞く面白さと奥深さ	青山学院大学	杉田 穂子 氏	全県	6月10日(月)午後3時から午後5時まで	対面研修	31	
	F2	災害ソーシャルワーク	みやぎ心のケアセンター	片柳 光昭 氏	全県	9月6日(金)午後2時から午後5時まで	対面研修	24	
	F3	ヤングケアラーについて考える	NPO法人 茨城居場所研究会	朝日 華子 氏	全県	1月17日(金)午前10時から正午まで	対面研修	20	
	F4	アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)	筑波大学人間系	河野 禎之 氏	全県	8月2日(金)午後3時から午後5時まで	対面研修	38	
	F5	レクリエーション技術	日本福祉文化協会 名誉会員 法政大学 教授	園田 碩哉 氏 越前 清美 氏	全県	2月28日(金)午前10時から正午まで	対面研修	14	
	F6	障がいのある方の「働く」を考える	あさやけ法律事務所代表	松岡 太郎 氏	全県	8月30日(金)午後3時から午後5時まで 10月10日(木)午後3時から午後5時まで	対面研修	26 14	
	F7	福祉と司法の連携	司法書士	鹿島 久実子 氏	全県	7月1日(月)午後2時30分から午後5時まで	対面研修	15	
	F8	卒業後のわたしたち	障害者支援センター松が丘園	多機能型事業所の皆さん	全県	7月8日(月)午前10時から正午まで	対面研修	52	
	F9	発達障害の二次障害	泉央福祉会	西岡 秀樹 氏	全県	9月27日(金)午前9時30分から正午まで 10月25日(金)午前10時から正午まで	対面研修	43 37	
	F10	精神障害者の雇用を支える支援者ケアと組織づくり	NRIみらい株式会社	山口 綾子 氏	全県	9月10日(火)午後3時から午後5時まで	対面研修	42	
	F11	くらすはたらくに大切な「性」の話	京都教育大学総合教育臨床センタ	門下 祐子 氏	全県	2月13日(木)午前10時から正午まで	対面研修	22	
支援者支援研修	F12	生活から支える障害者雇用	株式会社Grasol	中 真生 氏	全県	1月21日(火)午後2時30分から午後5時まで	対面研修	47	
	F13	卒業後のわたしたち②	障害者支援センター松が丘園	多機能型事業所の皆さん	全県	2月14日(金)午前10時から正午まで	対面研修	56	
	G1	「心のメンテナンス」研修	みやぎ心のケアセンター	片柳 光昭 氏	全県	12月13日(金)午後2時から午後5時まで	対面研修	25	
	G2	レジリエンス研修	慈恵第三看護学校非常勤講師 高津看護学校非常勤講師	井上 隆 氏	全県	2月4日(火)午後2時30分から午後5時まで	対面研修	29	
法定研修	H1	強度行動障害支援者養成研修(相模原市からの委託)	募集要項のとおり	募集要項のとおり	全県	11月21日(木)午前10時から午後5時30分まで 11月22日(金)午前9時00分から午後5時30分まで	対面研修	49 49	
管理者向け研修	I1	障害者虐待防止・権利擁護研修	和泉短期大学	中野 陽子 氏	全県	1月16日(木)午後2時30分から午後4時30分まで	対面研修	25	

※ 研修対象者の目安(基礎:主に職務経験1年目から3年目の新任職員を対象、応用:主に職務経験4年以上の職員を対象) 1961

【障害当事者、家族等向け】

区分	研修名	講師		実施日時	実施方法	参加者数	
		所属等	氏名				
障害当事者、 家族等向け研修	J1	はじめの歩	アロマテラピー教室MoriNote	宮澤 悠美 氏	3月30日(日)午前10時から1時30分まで	対面研修	4
	J2	きつと見つかる。新しい繋がり	相模原市社会福祉事業団 基幹相談支援センター 相模原市エゴーツ協会	担当職員	12月15日(日)午前10時から正午まで	オンライン・対面	5
	J3	未来に向けて今できること	法政大学	佐藤 蘭美 氏	2月3日(木)午前10時30分から正午まで	対面研修	39
	J4	働く中で大切にする	三菱UFJビジネスパートナー	担当職員	2月13日(木)午後1時から午後3時まで	対面研修	6

【市民等向け】

区分	研修名	講師		実施日時	実施方法	参加者数	
		所属等	氏名				
市民等向け講座	K1	障害平等研修	桜美林大学	谷内 孝行 氏	12月2日(月)午後2時から午後5時まで	対面研修	15
	K4	障害平等研修(津久井)	桜美林大学	谷内 孝行 氏	12月9日(月)午後5時30分から午後9時まで	対面研修	65
	K2	聞こえにくい方のためのコミュニケーション教室	相模原市南高齢・障害者相談課職員	高橋 優宏 氏	11月25日(月)午後2時から午後4時まで	対面研修	8
		聞こえにくい方のためのコミュニケーション教室	国際医療福祉大学三田病院	土屋 和代 氏 小山 幸子 氏	12月23日(月)午後2時から午後4時まで	対面研修	12
	K3	「分身ロボットOriHime」を活用した福祉ショップ「バオバブ」における取り組み報告～働きたいを形に～	神奈川県会計年度任用職員 神奈川県共生推進本部	みさき 氏 職員	9月13日(金)午後2時から午後3時30分まで	対面研修	63

54

170